

No.

18

18

18

18

18

18
18
18-60

LIBRARY
615
982
MCS

メキシコ人口活動促進
プロジェクトエバリュエーション調査団
報告書

1988年11月

国際協力事業団
医療協力部

国際協力事業団

19679

序 文

メキシコ人口活動促進プロジェクトは、1984年7月に締結されたR/D（討議々事録）に基づき、メキシコ国の人口データ・バンクの整備・利用及び人口教育の両分野に対する協力が開始された。

前者は、コンピュータ等データ・バンク用機材の導入及びそれによる基本的人口データ、社会経済データの整備、国レベル及び州レベルの将来人口推計、社会経済開発と関連した人口の諸推計の実施等を主たる活動とし、後者は、州政府の人口教育担当官の訓練、地方における人口教育の基礎調査、人口教育効果測定のためのパイロット調査の実施等を主たる協力内容とするものである。本報告書は7月下旬に宇都宮大学教養部教授大友篤氏を団長として、6名から成るエバリュエーション調査団が墨国側カウンターパート機関であるCONAPO（国家人口審議会）関係者との間で実施した総合評価の結果を取りまとめたものである。

おわりに、エバリュエーション調査団各位及び本プロジェクトの実施に御協力いただいた関係各位に対し深甚なる謝意を表するとともにCONAPOのますますの繁栄を強く期待するものである。

1988年9月

国際協力事業団

理事 末永昌介

目 次

I 序論	1
1. 調査団の派遣	1
(1) 調査団派遣の目的	1
(2) 調査団の構成	1
(3) 調査団日程表	2
2. プロジェクトの概要	3
(1) プロジェクトの目的	3
(2) プロジェクトの実施にいたるまでの経緯	3
(3) プロジェクトの活動の枠組み	4
3. 要約及び結論	6
II 評価方法	7
1. 評価に利用した報告書等	7
2. 評価の型式	7
III 投入実績	8
1. 機材供与事業	8
(1) 調達状況	8
(2) 整備状況	8
(3) 保守管理	8
(4) 利用状況	8
(5) ローカルコスト	8
(6) 供与機材リスト ANNEX 1	8
(7) 機材費実績 ANNEX 1	8
2. 専門家派遣事業	9
(1) 専門家リスト ANNEX 2	9
(2) 分野別専門家投入実績(短期) ANNEX 3	9
3. 研修員受入事業	9
(1) 日本への受入進行状況	9
(2) 帰国後の活躍状況	9
(3) 研修員受入れについての問題	9

(4) 研修成果の発揮状況	9
(5) 帰国研修員の定着率	10
(6) 受入れ研修員リスト ANNEX 4	10
(7) 受入れ研修員受入実績 ANNEX 5	10
4. 中堅技術者養成対策事業	10
(1) 60年度に実施した研修内容	10
(2) 61年度 "	10
(3) 62年度 "	10
(4) 63年度 "	10
(5) 投入経費実績 ANNEX 6	10
(6) 研修実績 ANNEX 7	10
IV 運営・管理	11
1. 運営・管理（CONAPOの機構図）ANNEX 8	11
2. 土地、建物、施設	11
3. 経費	11
(1) JICA	11
(2) CONAPO ANNEX 9	11
4. カウンターパート ANNEX 10	12
5. プロジェクト期間中に作成したマニュアル、ドキュメント、ラジオとテレビ プログラム ANNEX 11~12	12
6. COESPO（州人口審議会）の設立日 ANNEX 13	12
V プロジェクトの進行及び年代順レビュー	12
1. プロジェクトの進行 ANNEX 14	12
2. 年代順レビュー ANNEX 15	12
VI プロジェクトの諸活動の評価	13
1. はじめに	13
2. 基本人口データ・ベースの整備	13
3. 全国及び地域別将来推計	15
4. 社会経済データ・ベースの整備	16
5. 派生推計	17
6. 計算機システムの開発及びデータ処理	18

7. 人口教育のための基礎調査	20
8. 農村コミュニティにおける人口教育パイロットプロジェクト	21
9. 州人口審議会（COESPO）職員の研修活動	21
10. 教師ならびに農村リーダーの研修活動への協力	22
11. マスメディアによる人口に関する広報活動への協力	23
VII	
1. チアパス州サンクリストバル・デラス・カーサス、南西生態学研究センター見学記 ...	24
2. 州別世帯数の将来推計の技術協力（短期専門家）	26
VIII 資料編	31

I 序 論

1. 調査団の派遣

(1) 調査団派遣の目的

人口情報の整備、精度向上、及び人口教育の充実を目的として、1984年に開始された本プロジェクトは1988年9月R/Dの終了時期を迎えるが、終了に際し過去の投入実績、活動の成果を整理し、協力の効果を評価するため1988年7月下旬から約2週間に亘り調査団を派遣した。

(2) 調査団の構成

- 1) 団 長 大 友 篤 (総 括)
宇都宮大教養部教授
- 2) 団 員 雲 見 昌 弘 (評 価)
JICA医療協力特別業務室長
- 3) 団 員 阿 藤 誠 (人口教育)
厚生省人口問題研究所人口政策研究部長
- 4) 団 員 伊 藤 達 也 (人口統計)
厚生省人口問題研究所世帯構造研究室長
- 5) 団 員 川 崎 茂 (コンピュータプログラム)
総務庁統計局総務課総括課長補佐

(3) 調査団日程表

日	月・日・曜日	時刻	午 前	午 後	宿泊地 (HOTEL)
1	7月25日(月)	17:40		MEXICO CITY着 (JAL 012便) HOTELで 在墨専門家との協議	MEXICO CITY (HOTEL BRISTOL)
2	7月26日(火)	10:00～ 11:00～ 12:30～ 13:00～ 13:30～ 15:30～	日本大使館表敬(甲斐公使) JICAメキシコ事務所挨拶 (細野所長) メキシコ国家人口審議会総長 (LIC. MARTINEZ) 表敬 日程調整(CONAPOにて)	 在墨専門家との打ち合わせ	
3	7月27日(水)	10:00～ 14:00～ 16:00～	CONAPOカウンターパート・ 専門家との協議(分野別)	 CONAPOカウンターパート・ 専門家との協議(分野別)	
4	7月28日(木)	10:00～ 14:00～ 16:00～ 20:00～	評価案・資料作成(英文)	評価案・資料作成(英文) ミッション主催夕食会	
5	7月29日(金)	10:00～ 14:00～ 16:00～	評価案・資料作成(英文)	評価案・資料作成(英文)	
6	7月30日(土)	10:00～			
7	7月31日(日)		CHIAPAS州視察のため移 動(MX 211便)	評価案・資料作成(英・西文)	TUXTLA GUTIERREZ
8	8月1日(月)		CHIAPAS州人口審議会視 察	CHIAPAS州人口審議会 視察	
9	8月2日(火)		MEXICO CITYへ移動 (MX 210便)	評価案・資料作成(英・西文)	
10	8月3日(水)	10:00～ 14:00～ 16:00～	評価案・資料作成(英・西文)	評価案・資料作成(英・西文)	HOTEL BRISTOL
11	8月4日(木)	10:00～ 14:00～ 16:00～	第二回合同評価会議	評価報告書作成(英・西文)	
12	8月5日(金)	10:00～ 13:00～ 14:00～ 16:00～ 17:30～	ミニッツ案協議・調整 評価ミニッツ署名	CONAPO主催昼食会 JICA MEXICO 事務所挨拶 今井メキシコ大使表敬	
13	8月6日(土)	10:00～	資料整理	資料整理	
14	8月7日(日)	7:00～	MEXICO CITY - LOS ANGELES - TOKYO		
15	8月8日(月)			日本着	

2. プロジェクトの概要

(1) プロジェクトの目的

メキシコ人口活動促進技術協力プロジェクトの目的は、国際協力事業団の技術協力を通して、メキシコ国家人口審議会（CONAPO）が実施する種々の人口活動を促進し、強化することであった。

(2) プロジェクトの実施にいたるまでの経緯

メキシコの人口政策は、メキシコ国家人口審議会によって策定されたが、前大統領期においては、メキシコ国家人口審議会は、つぎの政策テーマにしたがって活動していた。

(A) 啓蒙および人口研究

(B) 地域開発

(C) 性教育および広報

その具体的な目標は、(a)出生率を低下させること、(b)都市地域への過度な人口集中を防止すること、および(c)性教育および家族計画教育を直接的に、またマスメディアを通じて促進することであった。

1981年に、メキシコ国家人口審議会は、都市地域ばかりでなく農村地域に住む貧困階層の人々を対象として、家族計画活動を促進させる要員を教育し、養成するための全国的な家族計画プログラム促進センターを設立することを計画した。そして、このセンターの管理を人口問題研究財団（FEPAC）のような民間機関に委託することを決定した。さらに、メキシコ国家人口審議会は、この分野における協力を、それまで人口家族計画の分野で協力関係のなかった日本政府に要請をおこなった。

メキシコ政府による要請に応じ、国際協力事業団は、松山栄吉団長（当時、厚生年金病院産婦人科部長）が率いる事前協議調査団を派遣した。しかし、調査団は、メキシコ国家人口審議会の計画があまりにも漠然としており、かつ抽象的であるということと、現大統領期の1カ月前という時期でもあったため、再度、調査団を送るという点を除いては、何らの結論にも到達することができなかつた。

1982年に、現大統領であるミゲル・デ・ラ・マドリッドが政権を担当したが、この時期、メキシコの年平均人口増加率は、2.5%であった。1976年における3.0%よりは低下しているものの、メキシコ政府は、それを、さらに、2000年までに1.0%に低下させたいという意向を強く示した。

1983年3月に、国際協力事業団は、中沢幸一団長（当時、医療協力部長）が率いる第一次実施協議調査団を派遣し、(a)訓練センターの全体計画、(b)協力機関の指定、(c)メキシコ国家人口審議会とFEPACとの関係の明確化、(d)協力分野における実行計画、(e)国際協力事業団が援助すべき資金額、(f)メキシコ側が用意する予算額などを協議した。しかし、その協議を通じては、何らの具

体的な協力事項の決定をみるにいたらなかった。

デ・ラ・マドリッド政権の発足後、新しいメキシコ国家人口審議会が組織され、人口活動を促進させるため、つぎのような方策が策定された。

- (A) 人口動態および人口分布の全国プログラム
- (B) 家族計画の全国プログラム
- (C) 人口教育の全国プログラム
- (D) 家族に関する全国プログラム
- (E) 原住民のグループに関する全国プログラム
- (F) 開発にさいしての婦人の統合のための活動の全国プログラム
- (G) 人口と開発に関する研究の全国プログラム

1983年11月に、国際協力事業団は、小林和正団長（日本大学人口研究所教授）以下の専門家チームをメキシコに派遣し、人口と家族計画プログラムの分野における協力に関する調査を再度おこなった。その結果、メキシコ側は、人口教育に関する協力を期待しており、メキシコ国家人口審議会は、人口教育に関する諸活動、とくに調査、分析、研究、研修、および広報に関して、国際協力事業団の援助を望んでいることが明らかになった。

慎重な検討の後、1984年7月、国際協力事業団は、小林団長が率いる第二次実施協議団を派遣し、協議をおこない、メキシコ国家人口審議会と国際協力事業団との間で4年3カ月の期間にわたって、主としてつぎの技術協力を開始することを両国政府に勧告するたの討議議事録（R/D）の調印をおこなった。

このプロジェクトの目的は、Master Plan に、以下のように記載されている。

『このプロジェクトの目的は、二国間の協力を通じてメキシコの国家人口審議会が行なっている、人口に関する諸活動を促進し拡張することにある。』

(3) プロジェクトの活動の枠組み

このプロジェクトは当初、つぎの諸活動から成るものとして計画された。

- (A) 下記の基本的人口データを整備し、全国および州レベルの将来人口を推計すること。
 - (a) 出生率
 - (b) 死亡率
 - (c) 国内および国際人口移動
- (B) 派生推計をおこない、人口と開発との関係を研究するために下記の基本的な社会経済的データを整備すること。
 - (a) 教育
 - (b) 保健
 - (c) 住宅

- (d) 生産
 - (e) 収入
 - (f) 雇用
 - (g) その他
- (C) 統計学の方法およびコンピュータ・プログラミングを調整すること。
- (D) 人口教育のため下記の内容で基本的調査研究を各州において実施すること。
- (a) 企画設計
 - (b) 実施
 - (c) 集計
 - (d) 分析
- (E) 人口教育の評価のための試験的調査研究を特定の州において実施すること。
- (F) 「人口教育のための一般的モデル」に基づき州人口審議会（COESPPO）の技術職員を研修すること。

しかしながら、このプロジェクトの活動計画は、プロジェクトの実施の過程において、メキシコ国家人口審議会と国際協力事業団の調査団との間の相互の合意に基づいて再調整され、最終的につぎのように定められた。

- (A) 基本的人口データ・ベースの作成
- (B) 全国および地域レベルの将来人口推計
- (C) 社会経済的データ・ベースの作成
- (D) 人口と開発に関する派生推計
 - (a) 世帯
 - (b) 労働力、教育、保健など
 - (c) メッシュ統計
- (E) コンピュータ・システムの開発およびデータ処理
- (F) 人口教育のための基礎的調査研究の実施
- (G) 2つの農村集落における試験的調査研究
- (H) 州職員に対する人口教育に関する研修
- (I) 教員およびコミュニティ・リーダーに対する人口教育に関する研修
- (J) マス・メディアによる人口教育に関する広報活動

3. 要約および結論

このプロジェクトの期間は1984年7月から1988年9月までであったが、その主要な活動は、1985年10月以降に集中的におこなわれた。それは、確保上の困難、メキシコ側のローカルコスト削減に伴う国家人口審議会へのコンピュータ・システム（IBM S/38）の導入の遅れ、その導入直後に発生した大地震、メキシコ側と日本側との間のコミュニケーション上の障害、メキシコ側の負担となる資金の不足などによって、プロジェクトの初期の段階では、あまり多くの活動を実施することができなかったからである。

しかし、メキシコ側と日本側の両者の努力によってこれらの障害が克服されたのちは、プロジェクトのすべての活動は、順調に進展し、その後半期には加速的に進展した。そして、1985年9月末までに、R/Dに定められた目標は、十分に達成されることが確信される。

コンピュータ・システムおよびその他の機材の供与、ならびに専門家の技術協力によって、基本的な人口データ・ベースと社会経済的データ・ベースからなる人口データ・バンクがメキシコ国家人口審議会に構築された。

その結果、センサス・データばかりでなく人口動態統計を含む種々の人口データが、男女、年齢別に、しかも全国ばかりでなく、州、ムニシピオ（市町村）、ロカリダド（集落）別に区分され、人口教育の教材としてばかりでなく、社会経済的、人口学的な種々の分析のためのデータ源として利用することが可能となった。また、このデータ・バンクは、メキシコ国家人口審議会が専門家から移転された技術、コンピュータ・システムおよびその他の機材を用いることによって、人口や世帯のいろいろな特性を派生的に推計することを可能にした。

人口教育のための基礎的調査研究および人口教育の評価のための試験的調査研究の2つの調査研究は、専門家の技術協力によっておこなわれたが、それは、メキシコ国家人口審議会の人口教育プログラムの拡大と改善に貢献した。

さらに、州職員ならびに教員およびコミュニティ・リーダーに対する人口教育に関する研修は、マス・メディアによる人口教育に関する広報活動とともに、国際協力事業団の協力によって実施されたが、これは、人口教育の普及に貢献した。とくに、メキシコ国家人口審議会をとおしての州人口審議会への機材供与は、このプロジェクトの期間中に設立された州人口審議会の数の増加にも大きく関わった。

最後に、メキシコ国家人口審議会の一層の発展のために、このプロジェクトの終了後も、このプロジェクトにおいて国際協力事業団がメキシコ国家人口審議会に移転した技術が、前節に記述した種々の方策を通じて、維持され、かつ普及されることを期待する。

II 評価の方法

1. 評価に際し使用した報告書等

- (1) 討議々事録
- (2) メキシコ政府からの要請書（A1, A2, A3, A4 フォーム）
- (3) ミニッツ及び年間活動計画
- (4) CONAPO側及び日本人専門家によって作成されたマニュアル等
- (5) 現地調査報告書

2. 評価の型式

評価の客観性を極力確保するために機材供与、研修員受入、専門家派遣等各種投入実績及び成果を極力定量的に行うと同時に、定量的に捉えにくい部分については調査団員による各協力分野の定性的評価も併わせて実施した。

Ⅲ 投 入 実 績

1. 機材供与事業

(1) 調達状況

現地調達は計画どおり実施され、契約はJICAの会計規程に基づいて行われている。

購入した機材は一時CONAPOに保管し、機材供与式を行ってCOESPOに供与している。機材供与式にはCONAPOの総長、JICAメキシコ事務所長のほか、日本人専門家も立会っている。

供与機材のCOESPOへの配分は、COESPOの活動状況等も考慮して適切に行われている。

(2) 整備状況

供与機材のうち、コンピュータ機器については、コンピュータ室に正しく設置され十分に稼働している。また、車輜や視聴覚機材などCOESPOに配分する機材については問題はない。ただCONAPOに設置する視聴機器の一部については、ラジオスタジオの建設が遅れたため仮スタジオに設置に使用している。

(3) 保守管理

コンピュータ機器、車輜については適切に管理されている。その他の機器についても同様である。

(4) 利用状況

	コンピュータ機器	視聴覚機器 (CONAPO使用分)	車 輜 (CONAPO使用分)
使用頻度	100%	80%	90%
精度の保持	100%	90%	90%
使用の習熟度	80%	70%	-

(5) ローカル・コスト

修理に必要な経費及びランニングコストは、すべてメキシコ側において負担している。

(6) 供与機材リスト ANNEX 1 参照

(7) 機材費実績 ANNEX 1 参照

2. 専門家派遣事業

(1) 専門家リスト ANNE X 2 参照

(2) 分野別投入実績 ANNE X 3 参照

3. 研修員受入事業

(1) 日本への受入れ進行状況

はゞ計画（ミニッツの計画）どおり進行したが、毎年ミニッツに4名の受入れが予定されているにもかかわらず毎年3名の受入れしか実現しなかったことに対して、メキシコ側はかならずしも満足していない。

研修の成果

研修員の自己評価は良好であるが、もう少し時間を経過した後でなければ正確な評価は困難である。

(2) 研修員の帰国後の活躍状況

現在CONAPOに残っている職員は習得した技術、経験を生かして活躍している。そして、そのほとんどが研修したことに係りのある職場につき精力的に働いている。

(3) 研修員受入れについての問題

研修員受入れについてメキシコ側としては、もう少し長期間にわたって特定の専門業務の知識の習得を希望している。本プロジェクト発足当初のようにCONAPO幹部が研修員として派遣される時は、一般的な知識の習得で十分であったが現時点のように個々の専門分野の担当者が派遣される場合においては特定のテーマについて深く知識を習得することを希望している。

これに対し、日本側は研修枠の問題もさることながら予算上の制約等により積極的に研修員を受入れようとする機関が少なくまたスペイン語の通訳の問題などもあって希望どおりの研修が困難な旨説明した。

(4) 研修成果の発揮状況

研修成果の発揮状況には個人差があるが一般的には日本へ研修員として派遣されたことに誇りを持っており、研修終了者の志気は高いように思えた。

(5) 帰国研修員の定着率

1984年度2名、1985年度3名、1986年度3名、1987年度3名で計11人の研修員のうち退職者は1985年度2名、1986年度1名の計3名であり、定着率は73%である。

(6) 研修員受入れリスト ANNEX 4 参照

(7) 研修員受入れ実績 ANNEX 5 参照

4. 中堅技術者養成対策事業

(1) 60年度に実施した研修内容

(A) 人口統計分野におけるコンピュータ研修

コンピュータ機器操作及び各種統計への応用についての研修を、CONAPO関係者12人を対象として行なった。

(B) 人口教育関係者再教育

人口教育関係者各20人を対象として9州において再教育を行なった。

(2) 61年度に実施した研修

15州の小中高校の校長・副校長を対象としてメキシコ政府の人口政策について各地で講習会を行なった。

(3) 62年度に実施した研修

(A) 各師範学校の社会学、自然科学、教育学、人類学等を担当する教師に対して人口教育の政策論、方法論を中心とした講習会を行なった。

(B) 人口増加率の高い農村地区に対し、政府の人口政策の理解と浸透を計るべく、農村、エヒード（農村共同体）のオピニオンリーダーおよび政府機関である農業訓練審議会（ICA）の指導員に対して研修会を開いた。

(4) 63年度に実施した研修

前年度と同じ

(5) 投入経費実績 ANNEX 6 参照

(6) 研修実績 ANNEX 7 参照

9/4
2012
13

IV 運 営 管 理

1. 運営管理全般について

本プロジェクトの運営管理はCONAPOによって行われた。CONAPOの機構図はANNEX 8のとおりである。本プロジェクトの円滑な運営のために設置されたCONAPO側代表者と日本人専門家からなる合同委員会（JOINT COMMITTEE）は十分その機能を発揮しプロジェクトの促進に寄与した。またCONAPO側の努力も高く評価されてよいと思われる。

2. 土地・建物・施設

- (1) 土地・建物・施設についてはすべてCONAPO側から提供された。
- (2) 家族計画放送プログラム作成のためのスタジオの建設は建設業者側の契約不履行もあり建設が遅れておりCONAPO側も本件解決に努力しているが現在のところ解決にいたっていない。

3. 経 費

(1) JICA側	(単位千円)
専 門 家 派 遣	222,390
機 材 供 与	296,324
研 修 員 受 入	34,064
中 堅 技 術 者 養 成	13,150
技 術 普 及 広 報	2,467
携 行 機 材	7,798
調 査 団 派 遣	40,673
調 査 活 動	6,150

(2) CONAPO側	(単位 1000 ペソ)
1984年度	141,908
1985年度	197,376
1986年度	550,450
1987年度	1,505,282
1988年度	1,360,251
合 計	3,755,267

(詳細はANNEX 9参照)

4. カウンターパート

協力期間中に受入れたカウンターパートの総数は29名でありその内訳はANNEX 10のとおりである。

5. 指導・訓練マニュアル等

協力期間中に作成された指導・訓練用マニュアル、ラジオ・テレビ用プログラムの詳細はANNEX 11, 12のとおりである。

6. COESPOの設立

設立されたCOESPOの数及び設立月日はANNEX 13のとおりである。

V プロジェクトの進行及び年代順レビュー

1. プロジェクトの進行表 …………… ANNEX 14参照
2. プロジェクトの年代順レビュー …… “ 15参照

VI プロジェクトの諸活動の評価

1. はじめに

このプロジェクトにおいて実施された諸活動は、最終的につぎのように区分される。

- (1) 基本的人口データ・ベースの作成
- (2) 全国および地域レベルの将来人口推計
- (3) 社会経済的データ・ベースの作成
- (4) 人口と開発に関する派生推計
 - a) 世帯
 - b) 労働力、教育、保健など
 - c) メッシュ統計
- (5) コンピュータ・システムの開発およびデータ処理
- (6) 人口教育のための基礎的調査研究の実施
- (7) 2つの農村集落における試験的調査研究
- (8) 州職員に対する人口教育に関する研修
- (9) 教員およびコミュニティ・リーダーに対する人口教育に関する研修
- (10) マス・メディアによる人口教育に関する広報活動

前記の諸活動のうち、(1)から(5)までの活動は、人口教育および関連の目的に用いるために、メキシコ国家人口審議会に構築される「人口データ・バンク」に関連するものであり、(6)から(10)までの活動は、人口教育に直接関連するものである。

これらの活動は、JICAの種々の協力手段によりおこなわれたが、前記(1)から(7)までは、専門家による技術協力およびコンピュータ・システムのような機材供与によりおこなわれた。一方、(8)から(10)までは、主に、機材供与のほか中堅技術者養成計画によりおこなわれた。

各分野の活動の評価の結果は、以下の各節において記述されているとおりである。

2. 基本人口データベースの整備

基本人口データベースの整備の目的は、CONAPOにおいて様々な人口分析や人口推計を行うための強固な基盤を作ることにある。

業務の内容としては、

- (1) データの選択
- (2) データ入力
- (3) データ処理

(4) データの評価と訂正

(5) メンテナンス

があった。

これらの業務は1984年7月に開始されたが、(2)、(3)、(4)が実際に始まったのは1985年8月になってのことである。これは、主としてメキシコ側のローカルコスト削減に伴うCONAPOへのコンピュータの導入の遅れ及び専門家確保の困難のためである。このほか、1985年9月19日の大地震により、CONAPOにおける基本人口データベースの構築に重大な障害が生じた。この結果、1980年人口センサスのデータ入力手作業により行われた。このような困難な状況にもかかわらず、基本人口データベースは各種の人口分析、統計分析、将来推計を行うために開発された。

このデータベースにより、人口分析や将来推計を行うために、必要な時に比較的簡単にデータの加工が行えるようになった。

このデータベースの開発以前は、そのような加工は手作業によって行うほかなく、このため、限られたスタッフで多くの深い分析を手早く行うのは困難であった。このデータベースはこのような手作業の限界を克服することを可能にした。

このデータベースに収録されているデータは、CONAPOで利用されることは勿論、INEGIなど他の政府機関や大学などに希望に応じて配布されている。これにより、メキシコの国全体として、人口分析を行う能力と人口動向についての関心がかなり高まるものと期待できる。

このように、データベース整備は、CONAPOの人口活動の促進及び人口情報の国内への普及の機能の強化に寄与しており、今後も寄与しつづけると期待される。これにより当初の目標は十分達成されたが、これまでCONAPOとJICAが払ってきた多大な努力による成果を今後とも維持し、強化するために、更に努力が必要と思われる。この点に関連して、次の点が人口データベースの改善のための将来課題として、CONAPO職員と専門家から提言されている。

(1) データベースの内容の更新、追加

最近の人口動向を観察し、分析する場合、最新時点のデータを使用することが不可欠である。市民登録のデータは毎年利用可能となるので、これについてはその公表の都度、定期的にデータベースに追加されるべきである。人口センサスのデータについては、サイクルが10年と長いですが、これも利用可能なものが適宜追加されるべきである。このほか、要望に応じて、データベースに未収録のデータも追加すればよい。

(2) データベース利用の促進

このデータベースは人口動向についての有意義な識見を生み出してくれる貴重な資産である。しかし、この資産は考える利用者がその存在、内容機能、利用方法等を十分熟知して初めて、その価値を発揮するものである。この意味で、現在行われている利用者用マニュアルの作成は大

変重要である。この作業が完了したら、マニュアルを十分な部数作成し、これをCONAPO内部及びデータベースの利用を希望すると思われる機関に配布すべきである。また、データベースシステムに変更が加えられる都度、このマニュアルは改訂されるべきである。

(3) データベースのメンテナンスを担当する担当者の配置

上記の提案を実現するには、その仕事を担当するスタッフがいなければ不可能である。したがって、データベースのメンテナンスを専門に担当する独立の担当者を配置すべきである。この担当者は、第4節に述べる社会経済データベースのメンテナンスを同時に担当することもできる。

3. 全国および地域別将来推計

人口の変動は、社会経済的変数の動きよりも、ゆっくりとしかも確実なテンポで進行する。出生率と死亡率が低下をはじめると、人口の増加率および年齢構成の変動がはじまる。メキシコにおける人口変動の現状は、まさにことような状態にあるが、さらに、農村から都市への著しい移動によって、大都市地域での高い人口増加率を生み出している。これらが様々な人口問題を生み出す直接的な原因となっている。

社会経済発展計画にとって、全国および地域別の男女、年齢別将来推計人口は、前述のような人口変動を前提として展開されるメキシコの全国および各地域の将来における人口を知るための最も基本的な資料となるものである。また、これらの推計データは、労働力人口、世帯数、教育程度別人口などの推計の基礎となる資料でもある。

このような観点からCONAPOにおいては、従来からINEGIなどと協力して独自に推計を行ってきたが、このプロジェクトにおいては、JICA側としては次のような技術移転を行った。

- (1) 全国および地域別の人口変動要因である出生率、死亡率等の人口学的指標の計測方法およびデータベースを利用するシステムの開発
- (2) 推計に用いる基準人口の評価と補正
- (3) 小地域における人口の将来推計の手法の開発
- (4) 社会経済的要因に基づく人口の将来推計の方法の開発

(1)に関して、データベースを利用した人口学的指標の計測方法とは、2つの異なる年次におけるセンサスの既往出生児数(Children ever born)のデータを用いた年齢別出生率の計測方法、既往出生児数と生存子供数(Children Surviving)のデータを用いた乳幼児死亡率の計測方法(Brass method)である。これらの方法については、「人口分析システムの利用解説(1987, 6)」を作成し、解説を行った。

最近のメキシコの出生率低下とそのメカニズムを分析するために、一つの調査から過去十数年間の年齢別出生率を計測する方法、すなわち同居児法(Own-Children Method)を指導するとともに

に、1982年の全国人口学的調査をもとに1970年代の出生率低下を計測し、方法の妥当性を検討する指導を行った。これに関するCONAPOの報告書は、「同居児法によるメキシコ出生力の推計（1987. 6）」である。

(2)に関して、全国および地域別人口の基準人口となる1980年人口センサスの男女、年齢別人口の評価および補正の方法についての技術移転を行ったが、その成果は次の報告書にとりまとめられた。「1980年センサス人口の修正」（1986. 3. 19）

(3)に関しては、都市レベルの人口推計手法について知りたいというCONAPO側の要望により、2つのセンサスの男女、年齢別人口から10年後、20年後の人口を推計する手法を紹介するとともに、データベースを利用したシステムの開発を行った。

(4)に関しては、CONAPO職員に対する日本における研修に際して、社会経済的要因に基づく地域別将来人口推計の方法を指導したが、社会経済的データベースが作成中であり、まだ利用できないという理由などから、この手法を適用した推計は実施されなかった。

推計結果および分析手法の多くは、JICAが供与したS-38を用いて収録されており、各種分析の基礎資料あるいはCOESPOへの技術指導および資料として利用されている。

人口データの整備、人口分析手法および将来推計手法に関する技術移転は、カウンターパートの交付もあったが、おおむね効果的に行われた。その結果、コンピュータの項でふれられると思うが、コンピュータの利用はその能力の限界に近くなっている。全国および地域別将来人口推計、さらに、関連の派生推計は、全体として一つのシステムとして行うことが望ましいと考えられることから、今後この協力分野については新しい展開が必要と考えられる。

なお、人口動態統計および人口センサスの登録率・把握率と内容の正確性を評価するために、教会登録資料を分析することを提案したが、諸々な事情から今回は見送ることにした。

4. 社会経済データベースの整備

社会経済データベースの整備の目的は、各種社会経済分析を行うための強固な基盤を作ることである。このデータベースと前述の基本人口データベースとは相互に補完するものであり、両者があいまって、統合化した分析や予測を行うのに寄与するものである。社会経済データベースの開発は1987年7月に始まり、1988年9月末までに完了の予定である。このデータベースの内容は、人口センサス、市民登録、都市雇用調査など様々な情報源から得られている。

両データベースの開発に伴ない、労働力の将来推計及び世帯数の将来推計が人口の将来推計から派生して行われつつあり、1988年9月末までに完了する予定である。

社会経済データベースは、基本人口データベースと共に、CONAPOが行う社会人口分析の重要な道具の一つとなると期待される。

社会経済データベースのデータは、基本人口データベース同様、COESPO、政府機関及び大学に

希望に応じて配布されている。このようにして、このデータベースは社会経済分析を促進すること及び社会経済分析を人口動向と関連づけて行うことに貢献するものと期待される。

このデータベース開発においては、基本人口データベース同様、当初の目標は大変よく達成されたが、これまでの努力を生かすべく、今後更に努力が必要である。既に基本人口データベース整備で示した。今後の活動は、このデータベースにも当てはまるが、さらに、この件については、次の点をCONAPO職員と専門家が重要であると認めている。

(1) データベース収録のデータの質の改善

データ整備及び分析の過程で、データの質について若干の問題が発見されており、それが社会経済現象を正しく解釈する上で障害になっている。例えば、経済活動人口のうちのかなりの者について、従業上の地位、産業、職業等比較的重要な項目が「不詳」となっている。

このような問題を克服するための一つの方法は、データの調整のための適切な方法を開発し、これにより調整されたデータをデータベースに保存することである。この目的で既に多大な努力が払われており、その結果については期待が持てるものと思われる。このような努力は更に持続すべきである。また同時に、適当な機会にデータの質の問題を統計作成部門にフィードバックすることは有意義である。それは、データの質の問題は統計作成者のみが解決できるからである。幸い、これまでCONAPOとINEGIとの関係は良好であり、このような関係を利用して協力してデータの質を改善することが重要である。

5. 派 生 推 計

この分野の目的は、メキシコの開発計画の中で人口との関連の深い部分についての統計データを、基本的人口データや社会経済的人口データなどに基づいて推計、または整備し、あわせて、そのための技術を移転することにある。

開発計画のなかで人口との関連が深い分野とは、教育、保健、住宅、雇用、生産などである。これまでCONAPOと日本人専門家の間で、優先性、データ入手の難易度、作業手順および作業量について検討し、次の3点についての技術指導を行った。

その第1は、世帯推計である。世帯数のデータは、人口数と並ぶ基本的人口データの一つであり、世帯推計は、これまでメキシコで行われていなかった。そこで、様々な世帯推計方法を紹介するとともに、1980年人口センサス、1982年人口学的調査等を用いて全国および州別の世帯数の計算を行った。これらの世帯推計に関連して下記の3つの報告書を作成した。

1. メキシコの世帯推計について（その1） 1987. 6
2. 同 上 （その2） 1987. 6
3. メキシコの推計世帯数 1988. 9（作業中）

これまでの計算結果によると、メキシコの世帯数は1980年から2000年までに倍に増加することがわかり、住宅問題についてのCONAPO側の認識が得られた。また、1980年人口センサスの特別集計をINEGI（メキシコ統計局）依頼するなどCONAPOの自主的活動がみられた。

その第2は、労働力に関する技術指導である。

労働力推計は、メキシコ開発計画の中で最も重要なデータとされているものの一つである。そこで、労働力に関する定義、データの内容等を検討し、どのような概念に基づく労働力推計が良いかを検討した。また、これまでの労働力人口の変動についての研究をおこなった。これらの結果を基に現在のメキシコで最適と考えられる方法を用いて、全国および州別の労働力人口の推計作業を行った。また、これら労働力人口に関する作業について、次の2つの報告書を作成した。

1. メキシコ労働力人口の推計について 1988. 6
2. メキシコ推計労働力人口 1988. 9（作業中）

第3は、メッシュ（格子状の地域）データ作成に関する技術指導である。

人口の地方分散は、メキシコの人口計画の一つの課題である。人口の地域分布の状態を的確に把握し、地方における人口収容力などを推定する手法として、メッシュの手法は非常に有効であり、日本においてはこの手法は広く用いられている。メキシコにおいては、まだこの手法を統計データの作成に用いられたことはなかったが、CONAPOのカウンターパートが日本における研修の際に、その有用性を知り、メキシコにおいてもこれを適用したい意向を示し、その技術指導を要請してきた。そこで、グアナフアト州をケースとして、その試験的作成を行うこととし、ロカリダードの人口データを基に、5 km×5 kmのメッシュについてデータの編成を行い、作業手順、作業量および結果の利用について検討した。その結果、CONAPOは、今後の開発に関連する調査研究の基礎的手法の一つとして、この手法の活用を一層進めることにしている。

メッシュデータに関する報告書は、日本語が2つ、西語が1つである。日本語の報告書は、「都市システムの一環としての地域メッシュ統計の試験的作成」および「メキシコにおける地域メッシュ統計作成上の問題点」である。西語の報告書は、“Estadística Mesh: Aplicación al Estado de Guanajuato” 1988. 7である。

派生推計の結果は、CONAPOが本プロジェクトにおいて作成している人口データバンクのデータベースとして利用されたほか、COEPOなどに対して人口教育の資料として用いられた。

以上のことから、この分野における技術指導は、きわめて効果的であったといえる。

6. 計算機システムの開発及びデータ処理

CONAPOにおけるデータ処理能力を向上させるために、コンピューターシステム一式がJICAにより供与された。1984年7月以来、専門家は機器の選定、導入に協力し、また、プログラミングや操作に当たるCONAPOの職員への研修など様々な技術的指導を行った。

システムは1985年8月に稼働を開始し、以後、システムはソフトウェア、ハードウェア両面において増強された。システムは、データベース利用による人口及び社会経済分析を行うため及びCONAPOの行った人口移動調査と教育調査などの情報処理を行うために用いられている。このシステムに構築された人口及び社会経済データベースに収録されたデータは各種分析を行う上で有用であることがわかっている。専門家の協力で開発された人口及び統計分析プログラムも有用であった。専門家とCONAPO職員が協力してシステム開発及び運用に当たり、その共同作業の結果、CONAPO 職員の情報処理能力が強化された。

CONAPOがメキシコ政府内で持っている人口政策の企画調整の重要な役割を考えると、CONAPOにとって人口や社会経済の動向を診断し、分析する能力を向上させることが必要である。この意味で、コンピュータシステムの役割は一層重要であり、JICAにより導入され開発されてきたコンピュータシステムの能力を維持し、強化してゆくことが望ましい。

この目標を達成するためには、次のことを行うことが望ましい。

(1) ハードウェアの強化

コンピュータシステムの利用はかなり増加しており、このため処理能力はほぼ限界に達している。このような状況が続いたり、さらに悪化したりすれば、財政事情にもよるが、現在のIBM System 38を強化せねばならない。CONAPO職員によれば、強化のポイントとして、a) 中央処理装置、b) 内部メモリー容量、c) 磁気ディスク装置が挙げられる。ハードウェアの強化に際しては、予算上の制約を考慮すると過度の投資を避けることも必要である。このため、データ処理の将来のニーズや各事業の優先順位を考慮に入れた上で綿密な強化計画を作る必要がある。

System 38 の強化の代わりに、マイクロコンピュータの増設を行うことも有効な解決策であろう。これは、マイクロコンピュータには研究者自身が操作できるような強力なソフトウェアが多数あるからである。この解決策によれば、System 38は中央データベース専用機として位置づけ、マイクロコンピュータをSystem 38に接続して使用することになる。したがって、この方法が採られるならば、System 38とマイクロコンピュータの間での分業が明確になる。すなわち、System 38はデータの保存と検索、マイクロコンピュータはデータの分析といった利用である。このようにすることにより、効率的な利用が可能になる。

(2) データ処理のための要員の強化

データ分析のためのニーズは量的にも質的にも増大しており、これに伴いデータ処理のニーズは増大している。コンピュータシステムは、情報処理のための強力な道具ではあるが、システムを適切に運用できるスタッフがいて初めてその能力が発揮される。CONAPOにおける今後の状況にもよるが、データ処理のための要員はその業務量の増大に応じて充実されなければならない。

い。同時に、研究にたずさわる CONAPO のスタッフにデータ処理の訓練を行うことが望ましい。これにより、データ処理担当者の負担が軽減されるとともに、利用者の必要とする結果がより手軽に得られることになる。訓練の内容は、ホスト及びマイクロコンピュータのソフトウェアパッケージに関するものに限定されるべきである。これは、情報処理について未経験の者が COBOL、FORTRAN、BASIC などの言語によるプログラミングの能力を身につけるのはあまりに時間がかかるためである。

7. 人口教育のための基礎調査

人口教育のための基礎調査は、CONAPO が本プロジェクト開始以前にもっていた全国画一の人口教育プログラムの内容を改善するための基礎データを得ることを目的とする。内容改善の方向は、人口教育の対象者の地域特性ならびに社会集団別特性を考慮した教育プログラムを作成することにある。この目的に沿って地域別調査、社会集団調査が企図された。

CONAPO は、地域別調査については、当初メキシコ全州の調査を企図していたが、主として経済的制約のため、全国を 8 ブロックに分け、既存の二次資料に基づく地域別人口統計分析を行った。その成果は「8 ブロック別定性分析書」としてまとめられた。

社会集団別調査については、CONAPO が人口教育の重点的对象のひとつとしている高校生を対象とする調査を 1988 年 3 月に実施した。全国の高校から 295 の学級を抽出、約 12,000 人の高校生を選び出し、家庭内での性別分業意識、性意識、性情報、性体験、結婚観などについて調べた。調査の結果は「高校生の性と家族意識に関する全国調査報告書」としてとりまとめられた。

JICA は長期、短期の専門家の派遣、メキシコからの研修生の受け入れを通じて、調査の立案、実施、分析についての技術移転を行った。

「8 ブロック別定性分析書」ではメキシコの地域別人口特性が明らかとなり、人口教育プログラムの内容を地域別に特化する際の基礎資料として役立てられた。また、「全国高校生調査」からは高校生性の性に関する実態、知識、理解のレベルを知ることができ、これを踏まえて高校生向けの人口教育プログラムの改善が進められつつある。

JICA の専門家は、調査の企画、質問票の設計、標本の設計、コンピューターによる集計、集計結果の分析のすべてについて技術協力し、CONAPO の担当職員に十分な技術移転を行った。

CONAPO は社会集団別の調査として「エヒードの夫婦」、「結婚登録直後の夫婦」を対象にした調査を企画している。両集団とも人口教育の対象としてきわめて重要であり、それに関する調査が早急に実施されることが望まれる。また、「高校生調査」の結果はデータ・ベース化されており、今後より詳細な分析を続けることによって、高校生の人口教育プログラム改善のための有益な資料をひき出すことが可能であろう。

8. 農村コミュニティにおける人口教育パイロットプロジェクト

人口教育のための農村パイロットプロジェクトは基礎調査プロジェクト同様、人口教育プログラムの内容改善に資する基礎資料を得ることを目的とする。内容改善の方向は既述のとおりであり、基礎調査が主に社会集団別に実施されるのに対し、本プロジェクトでは地域、特に人口教育の対象として重要である農村地域に限って、主に人口教育活動の効果測定、即ち人口教育実施によって人口教育対象者の知識、態度、行動がどのように変化するか、どのような方法が効果的かを検討し、人口教育プログラムの内容改善に役立てようとするものである。

プロジェクト開始当初、選定されたプロジェクト対象地の宗教的問題、CONAPO側調査担当責任者の交替また経済的制約等で当初計画案をそのまま実施することは不可能となった。しかし、その間も準備を進め1986年秋にCONAPO側の調査責任者が明確となり、調査に必要な人員も獲得されたのを機に、グアナファト州の2つの村（LA VENTA, SANTA ANITA）を選定し、以下のスケジュールでプロジェクトが実施された。

グアナファト州での事前調査（1986年9～11月）、第1回目調査（1986年12月、ここでは世帯票（331）、夫婦票（220）、独身票（278）、社会経済票（78）の4種類の調査票が用いられた）住民に対する人口教育活動（1987年4月～11月）、第2回目調査（1988年1月、夫婦票（203）、独身票（196））、事後分析作業（1988年2～7月）。

その成果は「農村コミュニティにおける人口教育プロジェクト報告書」（1, 2, 3）としてとりまとめられた。

JICAの専門家は調査の企画、質問票の設計、標本設計、コンピューターによる集計、集計結果の分析のすべてにおいて技術協力しCONAPOの担当職員に技術移転を行った。

同プロジェクトは事例研究ではあるが、①農村地域における世帯、夫婦、独身者に関する情報 — 結婚（観）、出産（観）、家族計画等 — を幅広く、詳細に基礎資料として得ることができ、②人口教育活動の方法・内容（グループ学習等）の効果について検討することができ、③また、人口教育によって（随意集団の誕生等）住民への啓蒙に二次的効果があることが判明した。

本プロジェクトの成果は、人口教育プログラムの内容を地域別特に農村地域に特化する際の基礎資料として役立てられ、人口教育の方法の改善にも大きく貢献した。

9. 州人口審議会（COESPO）職員の研修活動

今政権の行政の地方分散化方針に則って、1983年以来各州にCONAPOの州版にあたるCOESPOの設置が進められてきた。CONAPOは、各州にCOESPO設置を働きかけるとともに、COESPOの活動強化を目的として、COESPOの職員に対する人口教育実施のための指導者研修を実施してきた。

1988年現在、全国31州と連邦区（DF）のうち28州とDFにCOESPOが設置されるに至っている。COESPOの職員研修は、1984年に7回（参加者125人）、1985年に10回（同278人）、1986年に14回（同411人）、1987年に16回（同528人）、1988年に6回（同127人）実施した。プロジェクト期間全体では、53回の研修を実施し、1,469名が研修に参加したことになる（詳細は附属資料73参照）。

JICAは、このようなCONAPOのCOESPO強化の政策遂進に資するため、各COESPOに対し、CONAPOを通じて各種の研修機材を供与した。

COESPOの設置は、中央政府・CONAPOによる州政府への強い働きかけによるものであることは言うまでもないが、JICAの研修機材供与がCOESPO設置の誘因として貢献した。またCONAPOによるCOESPO職員の研修が順調に進められた結果、COESPO自身による人口教育研修活動も活発に行われるようになり、JICAが供与した研修機材は十分に活用されていると判断できる。

10. 教師ならびに農村リーダーの研修活動への協力

CONAPOは、COESPOの強化とは別に、文部省との協力の下、学校教育のカリキュラムに人口教育を盛り込む活動を進めてきた。また人口教育を行える教師を育てるために教師ならびに、将来の教師に対して研修活動を実施してきた。その他、農村における人口教育の指導者を育成するために農村のコミュニティ・リーダーに対する研修活動も実施してきた。

中堅技術者養成対策費が提供され始めてからの研修実績は次の通りである。1986年には初等教育向け師範学校の学生を対象に20回の研修セミナーが実施され、1,262名の生徒が参加した。1987年には、師範学校副校長を対象に3回（参加者77名）、体育学校の校長、副校長を対象に1回（同22名）、農村地域リーダーを対象に11回（同315名）の研修セミナーが実施された。1988年には師範学校教員ならびに学生を対象に27回（同991名）の研修セミナーが実施された。全体としては、62回の研修セミナーが実施され2,667名が参加したことになる（詳しくは附属資料8を参照せよ）。

JICAは、このようなCONAPOの研修活動を経済的に支援するため、中堅技術者養成対策費を提供した。

CONAPOの努力により、1988年から師範学校ならびに高等師範学校のカリキュラムに「教育と人口」に関する授業が組み込まれることとなった。CONAPOの研修プログラムは順調に進められ、多くの人口教育の指導者が育成された結果、今後学校ならびに農村における人口教育が大いに進展することが期待される。JICAの中堅技術者養成対策費は初期の目的を十分に達成したと考えられる。

11. マスメディアによる人口に関する広報活動への協力

人口問題の重要性を国民一般に直接訴えるために、CONAPOはマスメディアを用いた人口広報活動を行ってきた。広報活動の媒体はラジオ、テレビ、映画、出版物に分けられる。

CONAPOのコミュニケーション部は1984年テレビ番組を52本、1985年にテレビ番組52本、ラジオ番組40本、1986年にテレビ番組65本、ラジオ番組101本、1987年にテレビ番組66本、ラジオ番組188本、1988年にテレビ番組94本、ラジオ番組462本、ビデオ6本を作成した（詳細は、附属資料12を参照）。

内容的には、ラジオ番組は(a)青少年向けの性教育を中心とした番組、(b)農村向けの人口教育一般を内容とする番組、(c)都市部の女性向けに、女性の社会参加を促す番組、(d)改革に志向する女性をテーマとするラジオ・ドラマに分けられる。またテレビの番組は(a)人口教育全般をテーマとするデモカプセル（30秒スポット）、(b)人口政策の方向に沿って国民の意識変革を狙うメッセージスポット、(c)民間のテレビ局との共同製作番組に分けられる。

JICAによる技術協力以前には、CONAPOは、ラジオ、テレビの番組の台本のみを作成し、実際の番組作成は民間会社に外注していた。そのため番組作成費が高くなり、予算の制約上、多くの番組を作成することは困難であった。しかるにJICAの機材供与により、CONAPO自身で番組作成が可能となったため、バラエティに富んだ良質の番組を大量に作成することができるようになった。その結果、人口問題の重要性は国民各層の間で認識されるようになり、出生力の低下が例証するように、CONAPOが企図した人口に関する国民の意識変革は着実に進行しつつあるとみられる。

VII 1. チアパス州サン・クリストバル・デ・ラス・カサス 南西生態学研究センター見学記

人口問題研究所 伊藤達也

調査団は、1988年8月1日の午前、チアパス州サン・クリストバル・デ・ラス・カサスの郊外にある南西生態学研究センター (Centro de Investigaciones Ecológicas del Sureste) を見学し、CONAPOと共同で行った都市システム研究とチアパス州の人口とくに先住民族 (インディヘナ) の説明をうけた。この研究機関は、連邦政府の機関で1974年に地方分散計画の一環として、この地に設置されたもので、経費は連邦政府の国家科学技術振興機関と連邦予算企画省、チアパス州政府のほかWHO、米州保健機構などからの援助によっている。

研究組織は、所長の下に、生物学・熱帯医学、社会経済および農業生態学の3つの研究部門 (約60名の研究員)、および実験施設、図書館 (職員6名) となっている。その本部はサン・クリストバル・デ・ラス・カサスの郊外にあり、南部のタバチュラに支所が設置されている。

社会経済部門は、CONAPOと共同で、この州の都市システムの研究を行った。チアパス州は、熱帯気候と北西から南東にはしる2つの山系によって特徴付けられる地形と石油生産によって、完結した2つの大きな都市圏と4つの小さな都市圏と北部のタバスコ州の都市圏の一部に組み入れられた地域に区分されている。州経済は、森林資源と豊富な水資源と石油資源を基盤としている。最近の石油開発によって、雇用の増加が見られたが、生態系への悪影響、住宅問題などから、住民が受ける利益は州が国に与えるものより少ないと考えられており、社会経済開発に関する研究が重要になっていると、担当の研究員に説明した。

チアパス州の人口は、人口増加率が年平均約3%と高く、15歳未満の人口割合が4%、15~64歳の人口が52%と非常に若い人口が多い。その多くは都市部に居住し、山岳地に様々な先住民族 (インディヘナ) が生活している。人口移動は、州間の移動は少なく、山岳地方から都市部への州内移動が多く、州都ツクラトラ・グチーレスの人口増加率は年間7%と推計されている。

チアパス州の人々の生活について報告した農業生態学者によると、複雑な山岳地形と熱帯気候によって、複雑な植物相が形成されてきた結果、ヤマ文明およびその滅亡以後、各地に独自の言語と生活様式を産みだし、現在では独自の言語をもつ14の種族がある。なお、先住民族 (インディヘナ) とは、スペイン語以外の独自の言語を話す人々である。

かれらの生活は、スペイン人の植民以降、山岳地を中心としたが、生活の基盤である土地は、1940年以降の土地改革によって、旧来の所有者あるいは共有地として返還されてきている。所有面積あるいは耕作面積には、階層差がみられる。なお、農業生産は、焼き畑地のトウモロコシあるいは牧畜を中心としているので、人口増加によって森林地面積が1950年の45%から1970年には22%と減少している。また、経済開発によって、農村生活は困難となり、季節的な農業労働者あるいは建設作業員として現金収入をえている。州の農業生産活動のなかで彼らは必要な労働力となっているが、そこから受

け取る利益は少ないとものべた。

なお、この地への日系移民は、現在2世から3世の世代となり、社会各層で活躍するなど、メキシコ社会に統合されていると説明した。

最後に、CONAPOのデータ・ベースとこの研究機関との関係についての討議があり、この研究機関においてもデータ・ベースの整備を進めており、相互に協力できるところが少なくないとの結論に達した。

2. 州別世帯数の将来推計の技術協力

(短期専門家) 花田 恭

メキシコ共和国の人口活動促進プロジェクトに1988年7月11日から8月10日まで短期専門家として派遣され、国家人口審議会（CONAPO）において州別世帯数の将来推計の技術協力を行った。CONAPO側は、アルフォンソ・サンドバル・マリアガ人口研究部長、ハビエル・ペレス・アストルガ人口研究局付、アルテューロ・ゴンザレス・モラレス自然増加研究課長及び同課の職員であり、長期専門家の石田保夫氏（人口統計担当）の協力を得た。技術協力の内容は州別世帯数の将来推計について、

- ① 利用データの選別
 - ② 世帯主率法の適用の妥当性の検証
 - ③ プログラム作成と推計値の算出
 - ④ 推計結果の分析
- を行うことである。

世帯数の将来推計の全国値については、長期専門家の松村迪雄氏により試算がされており、また、コンピュータプログラムについては、短期専門家の長岡省悟氏により世帯主率法による世帯推計プログラムが、主としてデモンストレーション用に開発されており、これらを参考にしながら業務を行った。

世帯統計として州別世帯数の将来推計に利用できる調査には、1976年出産力調査、1982年人口調査、1980年国勢調査及び1970年、1960年国勢調査がある。これらの調査にはそれぞれ得失があるが、1980年国勢調査を主として利用し、他は参照するのにとどめることとした。主な理由は、世帯の定義について、1980年国勢調査だけが「住居と生計を共にしていること」としており、国際的に標準とされている定義に従っていること、また、1990年国勢調査及び今後の他の世帯調査ではこの定義に従って行われる可能性が高いことである。また、1980年国勢調査の州別の世帯集計について、CONAPOから国勢調査の当局に要請していた特別集計が得られる見通しがついたこと。さらに、1980年国勢調査は過去の国勢調査に比較して格段と精度が向上しており、出産力調査及び人口調査がサンプル調査であるのに対し、信頼性が高いこと等が指摘される。

1980年国勢調査では、世帯は家族世帯と非家族世帯に分けて集計されており、性・年齢別世帯主率が算出できる詳しい集計は家族世帯についてのみ行われている。州別に家族世帯の割合をみると、一部の国境を接して国際移動の高い州を除き、家族世帯が90%前後、非家族世帯が10%前後で安定している。したがって、家族世帯については、性・年齢（5歳階級）別世帯主率を求め、対応する人口に掛け合せて世帯数を推計し、非家族世帯については、世帯主の年齢別の集計がなされていないので、性別に世帯・人口比を求めて推計を行うこととし、9割を占める家族世帯数が的確に推計できれば、総世帯数の推計として十分信頼性のある推計が行えると考えられた。

次に、このような世帯主率の将来値を設定することであるが、1980年国勢調査という一時点のデータを基にするため、過去の傾向を伸ばすことは不可能である。そこで、世帯主率の安定性をみるため、1980年国勢調査で世帯主率及び非家族世帯では世帯・人口比の全国値と州別の人口により、前述の方法で州別世帯数を算出し、実績値と比較してみた。推計値と実績値の差は、キンタナロー州を除き±3%にすべて納った。キンタナロー州はメキシコ最西端で、ユカタン半島にあり、世帯数の内訳をみると単身世帯が特異的に多く、この州だけの特殊性を表わしていた。したがって、社会経済水準が大きく異なる州に同一の世帯主率を適用しても、総世帯数の推計にはそれほど差がないことがわかった。これは、社会経済水準の変動による世帯数の変動の多くが、人口構造の変動により説明されることを示しており、世帯主率そのものはかなり安定していることが推察された。

そこで、州別世帯数の将来推計について、家族世帯については、州別の性・年齢別世帯主率、非家族世帯については、州別の性別世帯・人口比を用い、2010年までそれらが一定と仮定した。

州別世帯数の将来推計のためのコンピュータ・プログラムは、JICAの協力によりCONAPOに設置してあるIBMのS/38を使用し、ベーシック言語で作成した。本コンピュータ上には、人口活動促進プロジェクトで作成され稼動しているデータ・ベースがあり、世帯数推計のもとになる州別将来推計人口はデータ・ベースから入力を行った。この州別将来推計人口は、CONAPOが推計し、国家政策の策定の基礎として公表されているものであり、1980年国勢調査人口を修正したものを基礎人口にして算出されているものである。したがって、州別世帯数の推計値についても、国勢調査の調査もれ等を補正し修正したものとと言える。1980年の世帯数が国勢調査の実数よりも多くなっているのはこのためである。

州別の世帯主の年齢別世帯数の特別集計は派遣期間中には、連邦区（メキシコ・シティ）とデュランゴの2州が間に合わなかった。そこで、この2州についてはとりあえず全国値で代用してある。これらの特別集計から世帯主率を算定するにあたっては、CONAPO職員に依頼し、パソコンの表計算システムの使用の練習とした。州別世帯数の推計結果の一部は別表に示すとおりである。なお、全国値は各州の合計値とした。一般には、全国値の推計が先に公表され、州別（地域別）推計をその後に行う場合が多く、州別推計の合計が全国値と一致しないため、その差を各州に割り戻して、州別推計を行うことが多い。今回の場合には、州別の値と全国値を同時に推計するため、単純に州の推計値の合計を全国値とした。また、この世帯数の全国値と推計人口の全国値から世帯主率を逆算し、全国の世帯数の推計結果の分析に資することとした。なお、プログラムのステップ数は610であり、構造化及び単純化を図るとともに、できるだけコメント文を付して今後のプログラムの変更の便とした。

主要な結果は、今後20年間で世帯総数が2倍になることである。世帯数の年間増加率は、3.5%を越す増加率が1995年頃まで続き、2010年頃でも2%程度となっている。これは人口増加率の1.5倍から2倍の大きさであり、世帯主率の高い年齢の人口が今後とも急増していくことを表わしている。すなわち、人口増加の抑制が成功しても、世帯数増加の抑制に効果が出るのは、20年以上の時

間の遅れがあるということである。

州別の詳細な結果の分析について、また、新しい情報による推計の改善については、長期専門家とCONAPO職員に委ねた。9月下旬に行われる将来推計シンポジウムにおいて、労働力の将来推計とともに、推計結果の発表が行われる予定である。

今後の州別世帯数の将来推計について、改善できる可能性があるのは、配偶関係別の世帯主率が州別に計算できる集計表が、国勢調査の当局から得られたことである。日程上の都合でその分析を行うことはできなかったが将来において、若干での婚姻の減少、死亡水準の向上による寡婦の減少、単身世帯の増加等が社会経済水準の変動により生起すると考えられることに対して、これらの分析が役に立つと思われる。将来推計人口が配偶関係別になされていないので、直接に配偶関係別世帯率を利用できるわけではないが、将来の世帯主率の動向について、多少とも知見が得られよう。

最後に、今回の技術協力については、データ・ベースの稼働等のこれまでのプロジェクトの成果が直接利用できたこと、並びに、長期専門家及びCONAPO職員の協力があつたことにより、作業が効率的に進んだことを付言したい。また、長期専門家及びCONAPO職員との協同作業により、技術移転にも効果があつたと思われる。

別表

1980～2010年 州別世帯数推計

全国 (ESTADOS UNIDOS MEXICANOS)

年次 (年)	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010
・世帯数 (1,000)	13,829	16,527	19,819	23,609	27,627	31,566	35,251
指数(1980年=100)	100.00	119.51	143.32	170.72	199.78	228.26	254.91
全国の割合(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
5年間の増加率(%)		19.51	19.92	19.12	17.02	14.26	11.68
年間増加率(%)		3.63	3.70	3.56	3.19	2.70	2.23
・人口 (1,000)	69,655	77,938	85,784	92,939	100,039	107,059	113,787
指数(1980年=100)	100.00	111.89	123.16	133.43	143.62	153.70	163.36
全国の割合(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
5年間の増加率(%)		11.89	10.07	8.34	7.64	7.02	6.28
年間増加率(%)		2.27	1.94	1.62	1.48	1.37	1.23
・一世帯当り人員(人)	5.04	4.72	4.33	3.94	3.62	3.39	3.23

アグアスカリエンテス (AGUASCALIENTES)

年次 (年)	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010
・世帯数 (1,000)	97	120	149	186	229	276	324
指数(1980年=100)	100.00	123.09	153.54	191.91	236.14	284.03	333.45
全国の割合(%)	0.70	0.72	0.75	0.79	0.83	0.87	0.92
5年間の増加率(%)		23.09	24.74	24.99	23.04	20.28	17.40
年間増加率(%)		4.24	4.52	4.56	4.23	3.76	3.26
・人口 (1,000)	541	630	721	814	913	1,018	1,127
指数(1980年=100)	100.00	116.33	133.23	150.50	168.72	188.08	208.20
全国の割合(%)	0.78	0.81	0.84	0.88	0.91	0.95	0.99
5年間の増加率(%)		16.33	14.53	12.96	12.11	11.48	10.70
年間増加率(%)		3.07	2.75	2.47	2.31	2.20	2.05
・一世帯当り人員(人)	5.57	5.27	4.83	4.37	3.98	3.69	3.48

資 料 編

ANNEX 1.	供与機材リスト	33
	機材費実績	34
ANNEX 2.	専門家リスト	35
ANNEX 3.	分野別投入実績	37
ANNEX 4.	研修員受入リスト	38
ANNEX 5.	研修員受入実績	39
ANNEX 6.	投入経費実績	40
ANNEX 7.	研修実績	41
ANNEX 8.	CONAPO機構図	50
ANNEX 9.	CONAPO予算	51
ANNEX 10.	カウンターパート	53
ANNEX 11.	プロジェクト期間中に作成したマニュアル、ドキュメント、 ラジオとテレビ	54
ANNEX 12.	ラジオ・テレビ番組	55
ANNEX 13.	COESPO設立日	60
ANNEX 14.	プロジェクトの進行	61
ANNEX 15.	年代順レビュー	62

※ ミニッツは別冊とした。

ANNEX 1

機 材 名	84年度	85年度	86年度	87年度	88年度	TOTAL
I. コンピュータ機器関係						
1. ミニコンピュータ ISB S/38						
(1) C. P. U.	1					1
(2) ハードディスクユニット	1					1
(3) プリンター	1	2		1		4
(4) 磁気テープユニット		1				1
(5) 高速プリンター		1				1
(6) 端末	2	3	2	2		9
2. ミニ・マイクロコンピュータ消耗品	1式	1式	1式	1式	1式	
3. ワードプロセッサ(ディスプレイ・プリンター)	2					2
4. マイクロコンピュータ(ディスプレイ・プリンター)			2	2	6	10
5. マイクロコンピュータアクセサリ(プリンター・グラフィックプリンター・スキャナー等)			2	2	2	6
6. 消耗品(プリンター用紙等)	1式	1式	1式	1式	1式	
7. コンピュータールーム備品(テーブル・椅子・ロッカー等)		16	20	8	17	61
8. ミニコンルーム空調機					1式	
II. 調査・教育用機器関係						
1. 調査・教育訓練用車輛	8	15	10	8		31
2. 車輛(ミニバス)		1				1
3. 電動タイプライター	5	3				8
4. 複写機			2			2
5. 性教育教材				100		100
6. 書棚, 書類入れ等					65	65
7. 車輛消耗品				1式		
8. 電動タイプライター消耗品				300	300	
III. 視聴覚機器関係						
1. ビデオ機器関係						
(1) 3/4インチ業務用ビデオデッキ (ポータブルも含む)	1	3	1			5
(2) 1/2インチビデオデッキ		1	10			11
(3) ビデオモニター(ポータブルも含む)	1	2	10	2	3	18
(4) ビデオカメラ(ポータブルを含む)		1	1		1	3
(5) ビデオ編集機		1				1
(6) ビデオ特殊効果装置(周辺装置含む)			1式			
(7) ビデオタイプライター				1		1
(8) 照明装置		2		2		4
(9) ビデオプロジェクター				1		1
(10) ビデオカメラ周辺機器				1	3	4
(11) ビデオカセット3/4インチ	12	250	180	1,300		1,742
(12) ビデオカセット1/2インチ		203		550		753

機 材 名	84年度	85年度	86年度	87年度	88年度	TOTAL
2. オーディオ機器						
(1) オープンリールデッキ (ポータブルを含む)		2		3		5
(2) カセットデッキ (ポータブルを含む)		3		1	2	6
(3) ラジオカセットテープレコーダー		5				5
(4) 音響装置 (アンプ・スピーカー)		2		1		3
(5) オーディオミキサー		1				
(6) ターンテーブル		2		2		4
(7) イコライザー		3				3
(8) チューナー		2				2
(9) マイクロフォン		6		7	3	16
(10) マイクロフォンスタンド		3		6		9
(11) コンパクトディスクプレーヤーW/コントローラー				1		1
(12) ヘッドフォン				3		3
(13) カセットテープ		360		3,700	1,050	5,110
(14) オープンリールテープ			200	900	400	1,500
(15) 照明装置交換ランプ				70	45	115
(16) ラジオスタジオ備品 (デスク・椅子)					1式	
3. COESPON A.V. 機材関係						
(1) スライドプロジェクターW/サウンドシステム		37		28		65
(2) 16mm フィルム映写機		17	20	28		65
(3) オーバーヘッドプロジェクター			35			35
(4) 映写スクリーン		56	55	28		129
(5) 小型テープレコーダー		37		40		77
(6) 各種プロジェクター交換ランプ		314	70	384		768
4. その他のA.V. 機材関係						
(1) 35mm カメラ	5					5
(2) カメラ用キャリングケース		1	2			3
(3) カメラ用アクセサリ (フラッシュ・広角・望遠レンズ・ズーム等)		1式	2式			
(4) フィルム巻取り機	1式		1式			
(5) フィルム接合機	1		1			2
(6) フィルム検査機			1			1
(7) オーバーヘッドプロジェクター		2				2
(8) ディゾルブコントローラー		3				3
(9) スライド作成機		1				1

機材費実績

1984年 34,000千円

1985年 75,000

1986年 53,000

1987年 54,000

1988年 20,000

ANNEX 2

区分	氏名	期 間	所 属 先	備 考(専門分野)		
長期	藤田 峯 三	昭和61年 9月17日~昭和63年 9月30日	総務庁統計局	リーダー/人口学	24	
	福田 久 明	昭和60年 5月27日~昭和62年 6月30日	同上	コンピューター	24	
	松村 勉 雄	昭和60年 7月29日~昭和62年 7月28日	同上	人口学	24	
	西岡 八 郎	昭和60年 5月27日~昭和63年 4月 2日	産業能率大学	社会人類学	36	
	石田 保 夫	昭和62年 7月 1日~昭和63年 9月30日	総務庁統計局	人口学	12	
	水口 勝 夫	昭和62年 7月 1日~昭和63年 9月30日	同上	コンピューター	12	
	武田 良 子	昭和60年 2月13日~昭和62年 2月13日	国際協力サービスセンター	業務調整	24	
	野沢 俊 博	昭和62年 6月15日~昭和63年 9月30日	同上	同上	15.5	
短期	大友 篤	昭和59年12月 2日~昭和59年12月16日	宇都宮大学教養部	人口統計	0.5	
	山下 登	同上	総務庁統計センター	同上	"	
	廣嶋 清 志	同上	厚生省人口問題研究所	同上	"	
	伊藤 達 也	同上	同上	同上	"	
	阿藤 誠	同上	同上	人口教育	" 4.5	
	昭和59年	友枝 啓 泰	同上	国立民俗学博物館	同上	"
	度	柏崎 浩	同上	東京大学	同上	"
		西岡 八 郎	同上	産業能率大学	同上	"
		武田 良 子	同上	国際協力サービスセンター	業務調整	"
		山下 登	昭和60年 3月 6日~昭和60年 6月 4日	総務庁統計センター	コンピューター	3
	望月 明 光	昭和60年 3月17日~昭和60年 4月 2日	A. V. C. C.	視聴覚教育	0.5	

区分	氏名	期 間	所 属 先	備 考(専門分野)	
昭和60年度	沢田城二	昭和60年7月15日～昭和60年12月12日	総務庁統計局	コンピューター	4
	望月明光	昭和60年10月14日～昭和61年2月7日	A. V. C. C.	視聴覚教育	2
	大友篤	昭和60年11月18日～昭和60年12月1日	宇都宮大学教養部	人口学	0.5
	阿藤誠	同上	厚生省人口問題研究所	人口教育	0.5
	坂井博通	同上	同上	統計学	0.5
	沢田城二	昭和61年1月～昭和61年3月	総務庁統計局	コンピューター	2
昭和61年度	大友篤	昭和61年9月17日～昭和61年9月28日	宇都宮大学教養部	人口学	0.4
	鏝峨座晴夫	同上	早稲田大学	同上	4
	大林千一	同上	総務庁統計局	統計学	2.0
	伊藤達也	同上	厚生省人口問題研究所	人口学	1
	大倉理	同上	J. I. C. A.	業務調整	1
	長岡省吾	昭和61年11月19日～昭和61年12月23日	厚生省統計情報部	人口統計	1
	桜井正美	昭和62年3月21日～昭和62年4月10日	同上	人口教育	1
昭和62年度	望月明光	昭和62年6月28日～昭和62年7月31日	A. V. C. C.	視聴覚教育	1
	鏝峨座晴夫	昭和62年8月16日～昭和61年8月31日	早稲田大学	人口学	0.5
	伊藤達也	昭和62年8月16日～昭和62年9月5日	厚生省人口問題研究所	同上	0.6
	小泉邦彦	昭和63年2月22日～昭和63年4月22日	総務庁統計センター	コンピューター	2
昭和63年度	新井信義	昭和63年4月18日～昭和63年6月17日	厚生省統計情報部	統計学	2
	花田恭	昭和63年7月11日～昭和63年8月9日	厚生省人口問題研究所	人口学	1

ANNEX 3

協力項目	分野	'83	'84	'85	'86	'87	'88
専門家							
人口学	人口学		2	2		1	1
	人口統計学		3	1	3	1	1
	人口推計学				1		
	コンピューター プログラミングデータ		1	2	2	1	
	人口統計経済						
人口教育学	人口教育学	3					
	社会学		1				
	文化人類学		2				
	都市開発		1				
	農村開発		1				
視聴覚教育	視聴覚		1	1		1	(1)
	業務調整	1	2		1		

ANNEX 4

年度	研修員氏名	分野	期間	派遣時の役職	備考
59年	LIC. JOSE GUILLERMO SAAVEDRA A.	行政	S.59年11月	計画調整局長	現在も同ポストである
	LIC. FRANCISCO J. GUTIERREZ	行政	S.59年11月	人口情報局長	現在も同ポストである
	LIC. SERGIO CAMPOSO-RTEGA CRUZ	人口学	S.60年7月	人口情報局 情報推計副部長	S.62年2月 COLEGIO DE MEXICO に移籍 CEDDU 研究者
60年	LIC. JAVIER PEREZ ASTORGA	人口学	S.60年7月	人口情報局 人口情報課長	人口情報分析副部長
	LIC. CARMEM DE LOURDES LARAQUE ESPINOSA	人口調査	S.60年7月	人口教育部 人口調査課長	S.62年5月退職、現在 UAM(首都大学)にて 社会学講師
61年	LIC. ROBERTO MEDINA LEFORT	人口教育	S.61年7~8月	人口教育部部長	現在も同ポストである
	LIC. GUILLERMO OROZCO ALAM	コンピュータ	S.61年7~8月	人口情報局人口 情報処理部長	現在も同ポストである
	LIC. MANUEL ORDORICA MELLADO	人口推計	S.61年7~8月	人口情報部 人口分析部長	S/62年1月退職、現在 アルゼンチン大学で教 鞭をとる
62年	LIC. JUAN JOSE CANTU GUTIERREZ	地域経済	S.62年9~10月	人口情報局地域 社会研究部長	現在も同ポストである
	LIC. VICENTE MEDINA LOPEZ	人口学	S.62年9~10月	人口分析部経済 モデル開発課長	現在も同ポストである
	LIC. ALTURO GONZALEZ MORALES	人口学	S.62年9~10月	人口分析部 情報評価課長	現在も同ポストである
63年	LIC. GERONIMO MARTINEZ GARCIA	行政	S.63年5月	CONAPO総長	現在も同ポストである
	LIC. GUILLERMO SAAVEDRA ARREDONDO	行政	S.62年7月	計画調整局長	現在も同ポストである
	LIC. F. JAVIER GUTIERREZ	行政	S.63年7月	人口情報局長	現在も同ポストである

ANNEX 5

協力項目	分野	'83	'84	'85	'86	'87	'88	計
研修員	計報学折育覚官			2				
	推情分教				1	1		
	人口					1		
	人口				1			
	人口			1		1		
	視行	聽政		2		1		3

ANNEX 6

年 度	金 額	対 象 者 数
1985	4,795 千円	コンピュータ機器操作 12人 人口教育関係者 9州 20人×9州 180人
1986	4,813	15州, 76校の小中高校の指導要項担当者 76人
1987	1,263	270人
1988	2,279	270人(87年度と分割)

ANNEX 7

CURSOS DE CAPACITACION DIRIGIDOS A PERSONAL TECNICO Y DIRECTIVO DE LOS CONSEJOS DE POBLACION

AÑO	FECHA	LUGAR	NO. DE PARTICIPANTES	CONCEPTO
1984	26 AL 30 DE MARZO	DISTRITO FEDERAL	20	INFORMACION BASICA SOBRE DEMOGRAFIA DIRIGIDA AL PERSONAL DE LA COORDINACION GENERAL DE PROGRAMAS DEL CONAPO.
1984	23 AL 30 DE ABRIL	DISTRITO FEDERAL	12	CURSO DE INFORMACION BASICA SOBRE DEMOGRAFIA DIRIGIDO A PERSONAL DE NUEVO INGRESO DE LA DIRECCION DE CAPACITACION EN EDUCACION EN POBLACION DEL CONAPO.
1984	28 AL 31 DE MAYO	DISTRITO FEDERAL	12	CURSO DE FAMILIA Y SEXUALIDAD DIRIGIDO AL PERSONAL DE NUEVO INGRESO DE LA DIRECCION DE EDUCACION EN POBLACION.
1984	4 AL 5 DE JUNIO	DISTRITO FEDERAL	12	SESION DE INFORMACION SOBRE DEMOGRAFIA DIRIGIDA AL PERSONAL DE LA DIRECCION DE CAPACITACION EN EDUCACION EN POBLACION DEL CONAPO.
1984	9 AL 11 DE AGOSTO	OAXTEPEC, MORELOS	33	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO AL PERSONAL TECNICO DE LOS COMUPOS.
1984	3 AL 7 DE SEPTIEMBRE	DISTRITO FEDERAL	15	CURSO DE INTRODUCCION A LA PROBLEMATICA ECOLOGICA, DIRIGIDO A LA DIRECCION DE CAPACITACION EN EDUCACION EN POBLACION DEL CONAPO.
1984	28 AL 29 DE NOVIEMBRE	CUERNAVACA, MOR.	21	SESIONES DE INFORMACION SOBRE POLITICA DE POBLACION Y EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A LOS SECRETARIOS TECNICOS DE LOS COMUPOS.
1985	15 AL 17 DE ENERO	COATEPEC, VER.	40	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO AL PERSONAL DEL COMITE DE POBLACION DE COATEPEC, VER.
1985	4 AL 15 DE FEBRERO	MAZATLAN, SIN.	40	CURSO BASICO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DEL COESPO.
1985	11 AL 12 DE FEBRERO	CHIHUAHUA, CHIH.	25	REUNION DE RESPONSABLES DE COMUNICACION EN POBLACION.
1985	16 AL 18 DE MAYO	CUERNAVACA, MOR.	25	REUNION DE RESPONSABLES DE COMUNICACION EN POBLACION.
1985	20 AL 31 DE MAYO	CULIACAN, SIN.	35	CURSO INTENSIVO SOBRE ASPECTOS BASICOS DE DEMOGRAFIA DIRIGIDO A PERSONAL DE LOS COESPOS.
1985	3 AL 8 DE JUNIO	CHETUMAL, Q.R.	22	CURSO BASICO DE PLANIFICACION FAMILIAR PARA SECRETARIOS TECNICOS DE COESPOS.

AÑO	FECHA	LUGAR	NO. DE PARTICIPANTES	CONCEPTO
1985	17 AL 20 DE JUNIO	TLAXCALA, TLAX.	30	CURSO BASICO DE BIBLIOTECOLOGIA DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DE LOS COESPOS.
1985	27 DE JUNIO	PUEBLA, PUE.	12	SESION DE INFORMACION SOBRE ASPECTOS BASICOS DE DEMOGRAFIA A PERSONAL TECNICO DEL COEPO.
1985	15 AL 19 DE JUNIO	ZACATECAS, ZAC.	22	CURSO BASICO DE PLANIFICACION FAMILIAR PARA SECRETARIOS TECNICOS DE LOS COESPOS.
1985	29 DE JULIO AL 9 DE AGOSTO	PUEBLA, PUE.	27	CURSO BASICO DE DEMOGRAFIA DIRIGIDO A PERSONAL DE LOS COESPOS.
1986	21 AL 26 DE ABRIL	GUADALAJARA, JAL.	29	CURSO INTENSIVO SOBRE ASPECTOS BASICOS DE DEMOGRAFIA DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DEL COEPO.
1986	19 AL 21 DE MAYO	GUAUTLA, MOR.	27	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A REPRESENTANTES DE COMUPOS.
1986	26 AL 28 DE MAYO	MONTERREY, N.L.	29	REUNION NACIONAL SOBRE EDUCACION EN POBLACION.
1986	2 AL 6 DE JUNIO	CHIHUAHUA, CHIH.	14	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO AL PERSONAL CAPACITADOR DEL COEPO.
1986	9 AL 12 DE JUNIO	TLAXCALA, TLAX.	35	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A REPRESENTANTES DE COMUPOS.
1986	23 AL 27 DE JUNIO	TULANCINGO, HGO.	32	CURSO DE ANALISIS DEMOGRAFICO II DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DE LOS COESPOS.
1986	7 AL 9 DE JULIO	MONTERREY, N.L.	45	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DE LOS COMUPOS.
1986	28 DE JULIO AL 2 DE AGOSTO	TLAXCALA, TLAX.	20	CURSO DE INTRODUCCION A LAS MICROCOMPUTADORAS DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DE LOS COESPOS.
1986	18 AL 29 DE AGOSTO	DISTRITO FEDERAL	20	CURSO DE PROYECCIONES DE POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DE LOS COESPOS.
1986	20 AL 22 DE AGOSTO	CD. REYNOSA, TAMAULIPAS	17	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A REPRESENTANTES DE COMUPOS.
1986	8 AL 10 DE SEPTIEMBRE	GUADALAJARA, JAL.	43	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A SECRETARIOS DE COMUPOS.

ÑO	FECHA	LUGAR	NO. DE PARTICIPANTES	CONCEPTO
1986	17 AL 19 DE SEPTIEMBRE	CD. VICTORIA, TAMS.	25	REUNION DE ASESORIA Y REPRESENTACION DE LOS CONSEJOS MUNICIPALES DE POBLACION.
1986	31 DE OCTUBRE AL 4 DE NOVIEMBRE	DISTRITO FEDERAL	46	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DE LOS CONSEJOS DELEGACIONALES DE POBLACION.
1986	10 AL 12 DE DICIEMBRE	GUADALAJARA, JAL.	29	REUNION NACIONAL DE EVALUACION PARA SECRETARIOS TECNICOS DE LOS COESPÓS.
1987	9 AL 11 DE FEBRERO	MEXICALI, B.C.	35	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO AL PERSONAL DEL AREA DE CAPACITACION DE INSTITUCIONES DEL SECTOR PUBLICO QUE CONFORMAN EL COEPO.
1987	25 AL 27 DE MARZO	DISTRITO FEDERAL	40	CURSO DE INFORMACION BASICA SOBRE EDUCACION DE LA SEXUALIDAD HUMANA EN EL MARCO DE EDUCACION EN POBLACION A PERSONAL DE LA DELEGACION CUAUHTEMOC.
1987	6 AL 8 DE MAYO	DISTRITO FEDERAL	35	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO QUE INTEGRA EL CONSEJO DELEGACIONAL DE POBLACION DE: CUAJIMALPA.
1987	25 AL 27 DE MAYO	GUADALAJARA, JAL.	65	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DEL SECTOR PUBLICO QUE INTEGRA EL COEPO.
1987	09 AL 12 DE JUNIO	TAXCO, GRO.	32	REUNION NACIONAL DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL RESPONSABLE DEL PROGRAMA DE EDUCACION EN POBLACION DE LOS COESPÓS.
1987	10 AL 12 DE JUNIO	CHETUMAL, Q.R.	35	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO AL PERSONAL TECNICO DEL SECTOR PUBLICO QUE INTEGRA EL COEPO DE: QUINTANA ROO.
1987	23 AL 25 DE JUNIO	HERMOSILLO, SON.	24	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DEL SECTOR PUBLICO INTEGRANTES DEL COEPO DE SONORA.
1987	1° AL 03 DE JULIO	DISTRITO FEDERAL	32	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DE LOS CONSEJOS DELEGACIONALES DE POBLACION DE: CUAUHTEMOC. GUSTAVO A. MADERO, VENUSTIANO CARRANZA Y AZCAPOTZALCO.
1987	06 AL 08 DE JULIO	DISTRITO FEDERAL	13	CURSO DE INFORMACION BASICA SOBRE EDUCACION DE LA SEXUALIDAD HUMANA DIRIGIDO A TRABAJADORES SOCIALES DEL CONSEJO DELEGACIONAL DE POBLACION DE: CUAUHTEMOC.

AÑO	FECHA	LUGAR	NO. DE PARTICIPANTES	CONCEPTO
1987	06 AL 21 DE JULIO	DISTRITO FEDERAL	14	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL MULTIPLICADOR DEL CONSEJO DELEGACIONALES DE POBLACION DE: CHAUHTEMOC.
1987	27 AL 29 DE JULIO	GUADALAJARA, JAL.	19	REUNION NACIONAL DE COMUNICACION EN POBLACION.
1987	19 AL 21 DE AGOSTO	DISTRITO FEDERAL	40	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DE LOS CONSEJOS DELEGACIONES DE POBLACION DE: COYOACAN, IZTAPALAPA, IZTACALCO Y TLALPAN.
1987	26 AL 28 DE AGOSTO	DISTRITO FEDERAL	38	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO DE LOS CONSEJOS DELEGACIONALES DE POBLACION DE: MIGUEL HIDALGO, BENITO JUAREZ, ALVARO OBREGON Y CUAJIMALPA.
1987	14 AL 18 DE AGOSTO	DISTRITO FEDERAL	26	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO AL PERSONAL TECNICO DE LOS CONSEJOS DELEGACIONALES DE POBLACION DE: MAGDALENA CONTRERAS, MILPA ALTA, TLALPAN, ALVARO OBREGON Y XOCHIMILCO.
1987	13 DE OCTUBRE AL 6 DE NOVIEMBRE.	DISTRITO FEDERAL	48	CURSO - TALLER DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL MULTIPLICADOR DE 16 CONSEJOS DELEGACIONALES.
1987	26 AL 28 DE NOVIEMBRE	GUANAJUATO, GTO.	32	REUNION NACIONAL DE SECRETARIOS TECNICOS DE LOS CONSEJOS ESTATALES DE POBLACION.
1988	2 AL 4 DE MARZO	CULIACAN, SIN.	17	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A COMUPOS.
1988	15 AL 18 DE MARZO	QUERETARO, QRO.	23	CURSO DE ADMINISTRACION ESTRATEGICA DIRIGIDA A PERSONAL DE LOS COEPOS Y PERSONAL DEL CONAPO.
1988	19 AL 23 DE MARZO	QUERETARO, QRO.	24	CURSO DE ENSEÑANZA-APRENDIZAJE CON METODOLOGIA PARTICIPATIVA, DIRIGIDA A PERSONAL DEL CONAPO.
1988	24 AL 29 DE MARZO	QUERETARO, QRO.	26	CURSO DE PLANEACION, PRESUPUESTACION Y CONTROL DIRIGIDO A PERSONAL DEL CONAPO.
1988	11 AL 13 DE ABRIL	OAXACA, OAX.	14	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A DIRECTORES Y PERSONAL TECNICO DEL COEPO.
1988	27 AL 29 DE ABRIL	QUERETARO, QRO.	23	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO Y ADMINISTRATIVO DEL COEPO.

**CURSOS DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDOS A TECNICOS DE NIVEL MEDIO (MULTIPLICADORES)
PRESUPUESTO CONAPO-JICA**

AÑO	FECHA	LUGAR	NO. DE PARTICIPANTES	CONCEPTO
1986	19 AL 21 DE FEBRERO	AYOTZINAPA, GRO.	83	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A ALUMNOS DEL GRADO DE EDUCACION NORMAL PRIMARIA.
1986	26 AL 28 DE FEBRERO	JONOCATEPEC, MOR.	20	"
1986	03 AL 05 DE MARZO	PROGRESO, HGO.	32	"
1986	05 AL 07 DE MARZO	HUEJUTLA, HGO.	57	"
1986	05 AL 07 DE MARZO	HUEJUTLA, HGO.	39	"
1986	03 AL 05 DE MARZO	GOMEZ FARIAS, CHIH.	48	"
1986	05 AL 07 DE MARZO	SAUCILLO, CHIH.	62	"
1986	03 AL 05 DE MARZO	ECATEPEC, EDO. DE MEX.	46	"
1986	04 AL 06 DE MARZO	ECATEPEC, EDO. DE MEX.	32	"
1986	05 AL 07 DE MARZO	ECATEPEC, EDO. DE MEX.	46	"
1986	17 AL 19 DE MARZO	IGUALA, GRO.	140	"
1986	17 AL 19 DE MARZO	CHILPANCINGO, GRO.	44	"
1986	15 AL 17 DE ABRIL	TEPIC, NAY.	69	"
1986	16 AL 18 DE ABRIL	SAN CRISTOBAL DE LAS CASAS, CHIS.	75	"

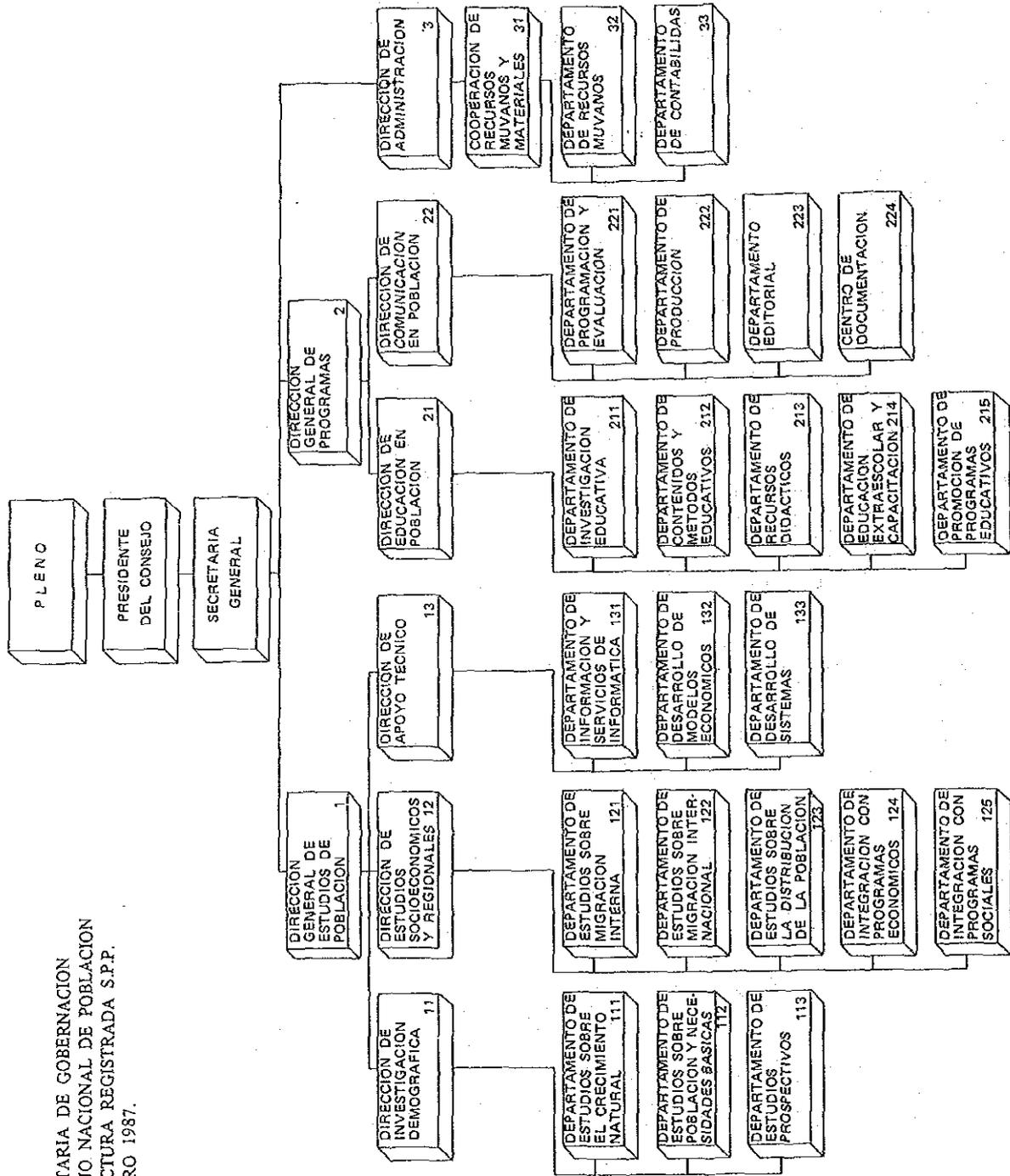
AÑO	FECHA	LUGAR	NO. DE PARTICIPANTES	CONCEPTO
1986	16 AL 18 DE ABRIL	TAPACHULA, CHIS.	85	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A ALUMNOS DEL ULTIMO GRADO DE EDUCACION NORMAL PRIMARIA.
1986	14 AL 16 DE ABRIL	MACTUMACZA, CHIS.	80	"
1986	24 AL 26 DE ABRIL	BACALAR, QUINTANA ROO	58	"
1986	12 AL 14 DE MAYO	GUADALAJARA, JAL.	87	"
1986	14 AL 16 DE MAYO	GUADALAJARA, JAL.	116	"
1986	19 AL 21 DE MAYO	MORELIA, MICH.	43	"
1987	27 AL 29 DE ABRIL	TUXTLA GUTIERREZ, CHIS.	19	1a. REUNION REGIONAL SOBRE EDUCACION EN POBLACION PARA DIRECTORES O SUBDIRECTORES DE LAS ESCUELAS DE EDUCACION NORMAL.
1987	11 AL 13 DE MAYO	PATZCUARO, MICH.	24	2a. REUNION REGIONAL SOBRE EDUCACION EN POBLACION PARA DIRECTORES O SUBDIRECTORES DE LAS ESCUELAS DE EDUCACION NORMAL.
1987	24 AL 26 DE JUNIO	ZACATECAS, ZAC.	34	3a. REUNION REGIONAL SOBRE EDUCACION EN POBLACION PARA DIRECTORES O SUBDIRECTORES DE LAS ESCUELAS DE EDUCACION NORMAL.
1987	26 AL 27 DE NOVIEMBRE	GUANAJUATO, GTO.	22	REUNION NACIONAL SOBRE EDUCACION EN POBLACION PARA LOS DIRECTORES O SUBDIRECTORES DE LAS ESCUELAS DE EDUCACION FISICA.
1987	31 DE AGOSTO AL 2 DE SEPTIEMBRE	CHINAMECA, MOR.	10	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO CAPACITADOR DEL SECTOR PUBLICO RESPONSABLE DE PROGRAMAS DIRIGIDOS AL AREA RURAL.
1987	02 AL 04 DE SEPTIEMBRE	CHINAMECA, MOR.	25	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A LIDERES CAMPESINOS.
1987	03 AL 05 DE SEPTIEMBRE	CHINAMECA, MOR.	25	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A INTEGRANTES DE LA UNIDAD AGRICOLA INDUSTRIAL DE LA MUJER CAMPESINA.

AÑO	FECHA	LUGAR	NO. DE PARTICIPANTES	CONCEPTO
1987	19 AL 20 DE OCTUBRE	SALVATIERRA GTO.	28	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO CAPACITADOR DEL SECTOR PUBLICO RESPONSABLE DE PROGRAMAS DIRIGIDOS AL AREA RURAL.
1987	20 AL 22 DE OCTUBRE	SALVATIERRA, GTO.	30	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A LIDERES CAMPESINOS.
1987	21 AL 23 DE OCTUBRE	SALVATIERRA, GTO.	30	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A INTEGRANTES DE LA UNIDAD AGRICOLA INDUSTRIAL DE LA MUJER CAMPESINA.
1987	04 AL 06 DE NOVIEMBRE	IXMIQUILPAN, HGO.	24	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO CAPACITADOR DEL SECTOR PUBLICO RESPONSABLE DE PROGRAMAS DIRIGIDOS AL AREA RURAL.
1987	10 AL 12 DE NOVIEMBRE	AGUASCALIENTES, AGS.	51	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO CAPACITADOR DEL SECTOR PUBLICO RESPONSABLE DE PROGRAMAS DIRIGIDOS AL AREA RURAL.
1987	18 AL 19 DE NOVIEMBRE	SALTILLO, COAH.	32	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A PERSONAL TECNICO CAPACITADOR DEL SECTOR PUBLICO RESPONSABLE DE PROGRAMAS DIRIGIDOS AL AREA RURAL.
1987	19 AL 21 DE NOVIEMBRE	SALTILLO, COAH.	30	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A LIDERES CAMPESINOS.
1987	20 AL 22 DE NOVIEMBRE	SALTILLO, COAH.	30	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A INTEGRANTES DE LA UNIDAD AGRICOLA INDUSTRIAL DE LA MUJER CAMPESINA.
1988	02 AL 04 DE FEBRERO	TUXTLA GUTIERREZ, CHIS.	67	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A MAESTROS DEL AREA DE CIENCIAS SOCIALES Y NATURALES, Y ALUMNOS DEL ULTIMO GRADO DE EDUCACION NORMAL SUPERIOR.
1988	09 AL 11 DE FEBRERO	CAMPECHE, CAMP.	35	" " " "
1988	09 AL 11 DE FEBRERO	MERIDA, YUC.	42	" " " "
1988	08 AL 10 DE FEBRERO	TICUL., YUC.	44	" " " "
1988	17 AL 19 DE FEBRERO	LEON, GTO.	20	" " " "

ANO	FECHA	LUGAR	NO. DE PARTICIPANTES	CONCEPTO
1988	23 AL 25 DE FEBRERO	PUEBLA, PUE.	49	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A MAESTROS DEL AREA DE CIENCIAS SOCIALES Y NATURALES, Y ALUMNOS DEL ULTIMO GRADO DE EDUCACION NORMAL SUPERIOR.
1988	22 AL 24 DE FEBRERO	CD. VICTORIA, TAMPS.	26	"
1988	23 AL 25 DE FEBRERO	CD. VICTORIA, TAMPS.	32	"
1988	24 AL 27 DE FEBRERO	CD. VICTORIA, TAMPS.	26	"
1988	1° AL 03 DE MARZO	CULIACAN, SIN.	42	"
1988	02 AL 04 DE MARZO	CULIACAN, SIN.	17	"
1988	08 AL 10 DE MARZO	MONTERREY, N.L.	20	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A ALUMNOS DEL ULTIMO GRADO DE EDUCACION NORMAL SUPERIOR.
1988	09 AL 11 DE MARZO	MONTERREY, N.L.	43	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A MAESTROS DE CIENCIAS SOCIALES Y NATURALES DE EDUCACION NORMAL SUPERIOR.
1988	07 AL 11 DE MARZO	HERMOSILLO, SON.	22	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A MAESTROS DE CIENCIAS SOCIALES, NATURALES Y ALUMNOS DEL ULTIMO GRADO DE EDUCACION NORMAL SUPERIOR.
1988	11 AL 15 DE ABRIL	OAXACA, OAX.	14	"
1988	12 AL 14 DE ABRIL	OAXACA, OAX.	36	"
1988	13 AL 15 DE ABRIL	IXTEPEC, OAX.	21	"
1988	09 AL 11 DE MAYO	LORETO, ZAC.	34	"
1988	10 AL 12 DE MAYO	JUCHIPILA, ZAC.	34	"

AÑO	FECHA	LUGAR	NO. DE PARTICIPANTES	CONCEPTO
1988	11 AL 13 DE MAYO	ZACATECAS, ZAC.	32	CURSO DE EDUCACION EN POBLACION DIRIGIDO A MAESTROS DE CIENCIAS SOCIALES, NATURALES Y ALUMNOS DEL ULTIMO GRADO DE EDUCACION NORMAL SUPERIOR.
1988	12 AL 14 DE MAYO	ZACATECAS, ZAC.	95	
1988	23 AL 25 DE MAYO	TAPACHULA, CHIS.	30	
1988	24 AL 27 DE MAYO	TAPACHULA, CHIS.	28	
1988	23 AL 25 DE MAYO	SAN CRISTOBAL DE LAS CASAS, CHIS.	18	
1988	24 AL 26 DE MAYO	TUXTLA GUTIERREZ, CHIS.	100	
1988	06 AL 08 DE JUNIO	AGUASCALIENTES, AGS.	40	
1988	08 AL 10 DE JUNIO	AGUASCALIENTES, AGS.	24	

SECRETARIA DE GOBERNACION
 CONSEJO NACIONAL DE POBLACION
 ESTRUCTURA REGISTRADA S.P.P.
 FEBRERO 1987.



SECRETARIA DE GOBERNACION
CONSEJO NACIONAL DE POBLACION
PRESUPUESTO EJERCIDO EN EL PERIODO 1984 - 1988

(Miles de pesos)

CONCEPTO	1984	1985	1986	1987	* 1988	TOTAL
Servicios personales	103,538	180,765	319,156	779,774	537,846	1'921,079
Material de oficinas	1,305	1,390	2,691	12,264	13,712	31,362
Material de impresión y reproducción	148	265	1,486	2,478	10,368	14,745
Material de impresión, equipos de cómputo	--	--	--	281	--	281
Combustibles	900	1,208	424	2,702	1,853	7,087
Servicio de energía eléctrica	69	55	69	787	9,775	10,775
Arrendamiento de edificios y locales	1,209	26,124	43,346	79,326	104,673	254,678
Arrendamiento de maquinaria y equipo	2,871	61	9,120	4,401	2,991	19,444
Arrendamiento equipos de cómputo	--	16	6,814	30,804	31,467	69,101
Servicios de vigilancia	--	4,512	9,788	21,013	18,383	53,696
Mantenimiento y conservación equipos de cómputo	--	--	--	22,823	22,710	45,533
Mantenimiento y conservación maquinaria y equipo	192	175	9,263	7,037	1,396	18,063
Material de limpieza	112	258	174	4,815	3,710	9,069
Material eléctrico	17	84	549	3,648	1,614	5,912
Servicio telefónico	370	324	370	32,358	217	33,639
Impresiones y publicaciones oficiales	--	--	661	4,259	--	4,920
Pasajes	1,547	5,988	3,157	1,302	--	11,994
Viáticos	3,702	2,841	5,043	4,892	--	16,478
Varios	17,273	16,461	3,930	9,917	5,110	52,691

CONCEPTO	1984	1985	1986	1987	* 1988	TOTAL
Estudios e investigaciones	2,735	11,006	1,092	2,530	4,387	21,750
Seguros	--	1,812	--	--	7,637	9,449
Fletes y maniobras	--	1,730	547	1,881	1,289	5,447
Congresos, convenciones y exposiciones	86,522	998	--	--	--	87,520
Servicios personales	54,210	70,148	206,747	483,959	430,316	1'245,380
Viajes y viáticos	10,375	9,565	52,588	87,224	71,611	231,363
Estudios e Investigaciones	10,188	13,113	40,421	485,927	476,426	1'026,075
Congresos, Cursos y Seminarios	5,725	27,444	92,858	176,392	53,754	356,173
Materiales (Equipo fungible)	2,150	37,487	2,760	38,473	3,780	84,650
Equipo y mobiliario	39,039	13,620	105,872	50,402	205,433	414,366
Impresiones, Publicaciones Oficiales y difusión en radio y T.V.	14,985	18,555	22,296	67,892	44,282	168,010
Gastos de mantenimiento	--	48	5,622	33,737	22,435	61,842
Varios	5,236	7,396	21,286	81,276	52,214	167,408
TOTAL ANUAL	141,908	197,376	550,450	1'505,282	1'360,251	3'755,267

* Cifras al 30 de Junio de 1988

ANNEX 10

LIST OF MEXICAN COUNTERPART

1. Statistics and Demography

Alfonso Sandoval Arriaga	Director of Investigation Demography
Javier Pérez Astorga	House hold
Arturo González Morales	House hold
María Isabel Monterrubio Gómez	Labor force
Constanza Rodríguez Hernández	Labor force
Armando Yáñez Gálvez	Labor force
Alfonso García Esquivel	Preparation of database
Sonia Patricia Hinojosa Cruz	Preparation of database

Turnovered

Manuel Ordorica Mellado	Director of Investigation Demography
Sergio Camposortega Cruz	House hold

2. Computer

Guillermo Orozco Alam	Director of Computer
Javier Sánchez García	Computer
Alfredo Rodríguez Anzures	Computer

3. Population Education

Roberto Medina Lefort	Director of Population Education
Sergio Pliego Fuentes	Investigation for the Population Education
Cristina Campos García	" "
Rebeca Barranco Amador	" "
Eduardo Mendoza Prieto	" "
Adriana Cabrera Valencia	" "
Miguel Barquera Medina	" "
Juan Víctor Sandoval Mora	" "
Leticia Barraza Silva	" "
Guadalupe Ovando Shelley	" "
Miguel Sánchez Bravo	" "
Laura Calderón Tovar	" "
Patricia Caudillo Martínez	" "
Amine Hamud Escárcega	" "
Georgina Gunaris Contreras	" "

Turnovered

Carmen de Lourdes Laraque Espinosa	Investigation for the Population Education
------------------------------------	--

ANNEX 11

Manuals and documents elaborated during the project.

1) Population Statistics.

- a) Manual para usuarios de banco de datos demografico y socioeconomico 1988. 9
- b) Banco de datos demografico y socioeconomico 1988. 7
- c) Guion para la utilización de los programas de analisis demografico y estadistico 1987. 6
- d) Las minutas acerca de preparación de datos socioeconomicos 1987. 7 -- 1988. 6
- e) Corrección de la población censada en 1980 1986. 3
- f) Aplicación del método de hijos propios para establecer el nivel de la fecundidad (1968 -- 1981)
- g) *Proyecciones del número de hogares en México Analisis comparativo de algunos métodos de proyección.*
- h) Estados unidos mexicanos, proyecciones de hogares un ejemplo metodologico.
- i) Número de hogares proyectados en México.
- j) Proyecciones de la población economicamente activa por sexo y grupos de edad a nivel nacional y estatal, 1980 -- 2010.
- k) Población economicamente activa proyectada en México
- l) 1988. 6 Estadística Mesh: Aplicación al estado de Guanajuato
- m) 1988. 7 Mapa estadística Mesh de Guanajuato.
- n) 1988. 7 Problemas en la preparación de la estadística Mesh en Guanajuato.

2) Computer

- a) 1987. 5 Computer system of CONAPO.
- b) 1988. 4 Tabulation system of CONAPO.

3) Population Education.

- a) Informe del proyecto de educación en población en comunidades rurales. (1987. 10)
- b) Proyecto de educación en población en comunidades rurales. (1988. 9)
- c) *Informe del proyecto de educación en población en comunidades rurales. (1988. 9)*
- d) Informe del analisis cualitativo sobre 8 regiones (1986. 8)
- e) Informe del proyecto de investigación básica sobre cuestiones de población (1987. 10)
- f) Informe de la encuesta nacional sobre sexualidad y familia en jovenes de educación media superior (1988. 9)
- g) Introducción a la estadística básica 1. (texto) (1988. 8)
" " " 2. (texto) (1988. 8)
- h) Introducción a la investigación social (1988. 9)

PROGRAMAS DE RADIO Y TELEVISION PRODUCIDOS POR EL CONSEJO NACIONAL DE POBLACION
EN EL PERIODO 1984-1988.

AÑO	MEDIO	TITULO	DURACION	CONCEPTO	COMENTARIOS
1984	Televisión	"Todos para todos"	52 entrevistas de 10 minutos.	Educación en Población para la Mujer Urbana	
1985	Televisión	"Vida Diaria"	52 programas de 90 minutos.	Educación en Población para la Mujer Urbana.	
	Radio	"Entre Tiempos"	40 programas de 30 minutos.	Educación Sexual para Adolescentes Urbanos.	
1986	Televisión	"Vida Diaria"	52 programas de 90 minutos.	Educación en Población para la Mujer Urbana.	
	Televisión	"Democápsulas"	13 mensajes de 30 segundos.	Información sobre Crecimiento y Distribución de Población, Planificación Familiar e Integración de la Mujer al Desarrollo.	
	Radio	"Democápsulas"	13 mensajes de 30 segundos.	"	
	Radio	"Entre Tiempos"	52 programas de 30 minutos.	Educación en Población para Adolescentes Urbanos.	
	Radio	"Mujer I"	36 programas de 60 minutos.	Información sobre Integración de la Mujer al Desarrollo para Mujeres Urbanas.	
1987	Televisión	"Vida Diaria"	52 programas de 120 minutos.	Educación en Población para la Mujer Urbana.	

AÑO	MEDIO	TITULO	DURACION	CONCEPTO	COMENTARIOS
	Televisión	"Democápsulas"	12 mensajes de 30 segundos.	Información sobre Crecimiento y Distribución de la Población y Planificación Familiar e Integración de la Mujer al Desarrollo.	
	Radio	"Democápsulas"	12 mensajes de 30 segundos.	"	
	Televisión	"Mensajes Cortos"	2 mensajes de 30 segundos.	Integración de la Mujer al Desarrollo.	
	Radio	"Mensajes Cortos"	2 mensajes de 30 segundos.	"	
	Radio	"Entre Tiempos"	52 programas de 30 minutos.	Educación Sexual para Adolescentes Urbanos.	
	Radio	"Mujer I"	52 programas de 60 minutos.	Información sobre Integración de la Mujer al Desarrollo para Mujeres Urbanas.	
	Radio	"Mujer II"	4 programas de 60 minutos.	"	
	Radio	"De Pueblo en Pueblo"	24 programas de 30 minutos.	Educación en Población para Hombres y Mujeres Rurales.	
	Radio	"Gabriela"	42 programas de 30 minutos.	Integración de la Mujer al Desarrollo.	
1988	Televisión	"Vida Diaria"	52 programas de 120 minutos.	Educación en Población para la Mujer Urbana.	
	Televisión	"Democápsulas"	12 mensajes de 30 segundos.	Información sobre Crecimiento y Distribución de la Población, Planificación Familiar e Integración de la Mujer al Desarrollo.	

AÑO	MEDIO	TITULO	DURACION	CONCEPTO	COMENTARIOS
	Radio	"Democápsulas"	12 mensajes de 30 segundos.	Información sobre Crecimiento y Distribución de la Población, Planificación Familiar e Integración de la Mujer al Desarrollo.	
	Televisión	"Mensajes Cortos"	2 mensajes de 30 segundos.	Distribución de la Población.	
	Radio	"Mensajes Cortos"	2 mensajes de 30 segundos.	"	
	VIDEO	"La Política de Población de México"	1 programa de 110 minutos.	Los Antecedentes Históricos de la Política de Población de México, principales problemas demográficos y políticas actuales para enfrentarlos.	
	VIDEO	"La Migración de Trabajadores Mexicanos Indocumentados a los EUA."	1 programa de 30 minutos.	Diagnóstico de los antecedentes, evolución y situación actual de los trabajadores mexicanos indocumentados a los EUA.	
	VIDEO	"El Subsistema de Ciudades Acapulco-Chilpancingo -Iguala"	1 programa de 60 minutos.	Diagnóstico de los recursos naturales, económicos y poblacionales del subsistema, y políticas de desarrollo.	
	VIDEO	"La Dirección General de Programas"	1 programa de 30 minutos.	Programa Informativo de las Actividades que realiza la Dirección General.	
	VIDEO	"Memoria del Proyecto JICA-CONAPO"	1 programa de 60 minutos.	Antecedentes, evolución y logros de la cooperación técnica entre el Gobierno del Japón y el CONAPO.	
	Radio	"Entre Tiempos"	52 programas de 30 minutos.	Educación sexual para adolescentes.	
	Radio	"Mujer I"	52 programas de 60 minutos.	Información sobre integración de la mujer al desarrollo.	

AÑO	MEDIO	TITULO	DURACION	CONCEPTO	COMENTARIOS
	Radio	"Mujer II"	52 programas de 60 minutos.	Información sobre integración de la mujer al desarrollo.	
	Televisión	"Cápsulas Informativas".	12 programas de 30 segundos.	Información sobre crecimiento natural y social de la población para adultos urbanos.	En coordinación con los estados de Querétaro y Nuevo León.
	Radio	"Cápsulas informativas".	12 programas de 30 segundos.	"	"
	Televisión	"Mensajes Cortos"	8 programas de 30 segundos.	"	"
	Radio	"Mensajes Cortos"	8 programas de 30 segundos.	"	"
	Radio	"Historias de Parejas".	40 programas de 30 minutos.	"	"
	Televisión	"Mensajes Cortos"	8 programas de 30 segundos.	Información sobre familia y sexualidad para adolescentes urbanos.	En coordinación con los estados de Jalisco y Tabasco.
	Radio	"Mensajes Cortos"	8 programas de 30 segundos.	"	"
	Radio	"Metamorfosis"	40 programas de 30 minutos.	"	"
	Radio	"Historias de niños"	40 programas de 30 minutos.	Información sobre integración de la mujer al desarrollo para niños urbanos.	En coordinación con los estados de Oaxaca y Guanajuato.
	Radio	"Revista Radiofónica"	40 programas de 60 minutos.	Información sobre fecundidad para jóvenes y adultos de zonas rurales.	En coordinación con los estados de San Luis Potosí y Puebla.

AÑO	MEDIO	TITULO	DURACION	CONCEPTO	COMENTARIOS
	Radio	"Leyendas y Tradiciones".	40 programas de 30 minutos.	Información sobre fecundidad para jóvenes y adultos de zonas rurales.	En coordinación con los estados de San Luis Potosí y Puebla.
	Radio	"De pueblo en pueblo"	40 programas de 30 minutos.	"	"
	Radio	"Cápsulas informativas".	24 programas de 30 segundos.	"	"
	VIDEO	"Los Subsistemas de Ciudades de México".	20 programas de 60 minutos.	Diagnóstico de los recursos naturales, económicos y poblacionales de 20 subsistemas de ciudades de México y sus respectivas políticas de desarrollo.	

ANNEX 13

FECHAS DE INSTALACION DE LOS CONSEJOS ESTATALES DE POBLACION

ESTADO	FECHA DE INSTALACION DEL CONSEJO ESTATAL DE POBLACION
AGUASCALIENTES	SEPTEMBER 4, 1984
BAJA CALIFORNIA	MAY 9, 1984
BAJA CALIFORNIA SUR	MAY 2, 1984
CAMPECHE	MAY 31, 1984
CHIAPAS	MAY 16, 1984
CHIHUAHUA	APRIL 16, 1984
COAHUILA	JULY 11, 1984
COLIMA	APRIL 4, 1984
DISTRITO FEDERAL	DECEMBER 13, 1983
DURANGO	OCTOBER 23, 1984
GUANAJUATO	FEBRUARY 19, 1984
GUERRERO	JULY 20, 1984
HIDALGO	FEBRUARY 16, 1984
JALISCO	FEBRUARY 23, 1984
MEXICO	NOVEMBER 13, 1984
MICHOACAN	
MORELOS	JANUARY 15, 1985
NAYARIT	MARCH 26, 1984
NUEVO LEON	MARCH 9, 1984
OAXACA	JULY 19, 1984
PUEBLA	FEBRUARY 28, 1984
QUERETARO	JANUARY 29, 1988
QUINTANA ROO	FEBRUARY 7, 1984
SAN LUIS POTOSI	OCTOBER 29, 1987
SINALOA	MARCH 27, 1984
SONORA	JUNE 12, 1984
TABASCO	MAY 29, 1984
TAMAULIPAS	NOVEMBER 23, 1984
TLAXCALA	MARCH 20, 1984
VERACRUZ	
YUCATAN	MAY 31, 1984
ZACATECAS	APRIL 11, 1984

PROGRESS OF THE PROJECT

FIELD OF COOPERATION	1984	1985	1986	1987	1988
(1) Preparation of basic population data	7				9
(2) Projections of population at national and sub-national levels			1		9
(3) Preparation of socio-economic data				7	9
(4) Derivative estimation related to population and development			9		9
1) Household			9		9
2) Labour force				7	9
3) Mesh statistics					1-6
(5) Computer system development and data processing		3			9
1) Programming for population analysis			1	12	
2) General purpose tabulation system					1-6
3) Production operation of data base					1
(6) Basic studies for population education		5			9
(7) The pilot project for population education in rural community	7				9
(8) Training of state's officials on population education		2			9
(9) Training for school teachers and community leaders on population education			1		9
(10) Communication activities on population through massmedia		5			9

ANNEX 15

CHRONOLOGICAL REVIEW OF THE PROJECT

Year	Matter	Name of personnel	Organization
Nov., 1982	Dispatch of Preliminary Survey Team	E. MATSUYAMA	KOUSEI NENKIN HOSPITAL
		T. KATAGIRI	JOICFP
		T. FUCHIGAMI	TSUKUBA UNIV.
		C. SUGIYAMA	M.O.F.A.
		G. SASANO	JICA
Jul., 1983	Dispatch of the First Implementation Survey Team	K. NAKAZAWA	JICA
		A. NARITA	JICA
		H. NOHNO	M.O.F.A.
Nov., 1983	Dispatch of Experts for Consultation	K. KOBAYASHI	NIHON UNIV.
		M. ATO	M.O.H.W.
		M. ISHII	TOKYO UNIV.
		K. TANABE	JICA
Jul., 1984	Dispatch of the Second Implementation Survey Team. R/D Signed and Cooperation Started	K. KOBAYASHI	NIHON UNIV.
		A. OTOMO	UTSUNOMIYA UNIV.
		M. ATO	M.O.H.W.
		K. HIROSHIMA	M.O.H.W.
		K. TANABE	JICA
Nov., 1984	Study Tour of two CONAPO Counterparts in Japan	J. G. SAAVEDRA A.	
		F. J. GUTIERREZ	
Dec., 1984	Dispatch of the Group of Short-Term Experts	A. OTOMO	UTSUNOMIYA UNIV.
		N. YAMASHITA	M.C.A.
		K. HIROSHIMA	M.O.H.W.
		T. ITO	M.O.H.W.
		M. ATO	M.O.H.W.
		H. TOMGEDA	NATIONAL MUSEAM OF ANTHORPOLOGY
		H. KASHIWAZAKI	TOKYO UNIV.
		H. NISHIOKA	SANNO COLLEGE
		R. TAKEDA	I.C.S.C.

Dec., 1984	Survey on Population Education in Atlafahucan		
Feb., 1985	Dispatch of Coordinator	R. TAKEDA	I.C.S.C.
Mar., 1985	Dispatch of Short-Term Expert on Computer	N. YAMASHITA	M.C.A.
Mar., 1985	Dispatch of Program Revision Mission	K. KOBAYASHI A. OTOMO M. HATA H. NISHIOKA A. NARITA	NIHON UNIV. UTSUNOMIYA UNIV. M.O.H.W. SANNO COLLEGE JICA
Mar., 1985	Dispatch of Short-Term Expert on Audio-Visual Equipment	A. MOCHIZUKI	A.V.C.C.
Mar., 1985	Provision of Equipment for 1984 (U.S. \$ 123,750)		
May, 1985	Dispatch of Long-Term Expert Computer	H. FUKUDA	M.C.A.
May, 1985	Dispatch of Long-Term Expert on Population Education	H. NISHIOKA	SANNO COLLEGE
Jun., 1985	Instalation of Micro Computer		
Jul., 1985	Dispatch of Short-Term Expert on Computer	J. SAWADA	M.C.A.
Jul., 1985	Dispatch of Long-Term Expert on Demography	M. MATSUMURA	M.C.A.
Jul., 1985	Study Tour of three CONAPO Counterparts in Japan	S. CAMPOSORTEGA J. PEREZ C. DE L. LARAQUE	
Sept., 1985	Start of Input of Basic Demographic Data		

Sept., 1985	Earthquake in Mexico City. Data of Censos stockpiled in INEGI was badly damaged.		
Oct., 1985	Dispatch of Short-Term Expert on Audio-Visual Equipment	A. MOCHIZUKI	A.V.C.C.
Nov., 1985	Dispatch of Short-Term Experts	A. OTOMO M. ATO H. SAKAI	UTSUNOMIYA UNIV. M.O.H.W. M.C.A.
Jan., 1986	Dispatch of Program Revision Mission	K. KOBAYASHI A. OTOMO M. FUJITA T. ITO S. TAKAHASHI A. NARITA	NIHON UNIV. UTSUNOMIYA UNIV. M.C.A. M.O.H.W. M.O.H.W. JICA
Jan., 1986	Dispatch of Short-Term Expert	J. SAWADA	M.C.A.
Mar., 1986	Provision of Equipment for 1985 (U.S. \$ 531,195)		
May., 1986	Report on Socio-economic and Demographic Characteristic of eight areas in Mexico was Compiled		
Jul., 1986	Study Tour of three CONAPO Counterparts in Japan	R. MEDINA L. G. OROZCO A. M. ORDORICA M.	
Sept., 1986	Dispatch of Short-Term Experts	A. OTOMO H. SAGAZA S. OBAYASHI T. ITO M. OKURA	UTSUNOMIYA UNIV. WASEDA UNIV. M.C.A. M.O.H.W. JICA
Sept., 1986	Dispatch of Team Leader	M. FUJITA	M.C.A.

Nov., 1986	Dispatch of Short-Term Expert	S. NAGAOKA	M.O.H.W.
Nov., 1986	Dispatch of Consultation Mission	K. KOBAYASHI A. OTOMO M. ATO T. OTO Y. IKEDA	NIHON UNIV. UTSUNOMIYA UNIV. M.O.H.W. M.C.A. JICA
Dec., 1986	Pilot Studies in Guanajuato		
Jan., 1987	Start of Education Population Activities in La Venta		
Mar., 1987	Dispatch of Short-Term Expert on Population Education	M. SAKURAI	M.O.H.W.
Mar., 1987	Provision of Equipment for 1986 (U.S. \$ 361,765)		
Mar., 1987	Completion of Manual for Computer System in CONAPO		
Apr., 1987	Opening Ceremony of Middle-level Technical Staff Training Programa in Chiapas		
Jun., 1987	Dispatch of Coordinator	T. NOZAWA	I.C.S.C.
Jun., 1987	Dispatch of Short-Term Expert on Audio-Visual Equipment	A. MOCHIZUKI	A.V.C.C.
Jun., 1987	Completion of Following Documents "Measuring Fertility by Application of On-Children Method", "Estimation of National Household", and "Manual for System of Population Analysis".		
Jul., 1987	Dispatch of Long-Term Experts	Y. ISHIDA K. MIZUGUCHI	M.C.A. M.C.A.

Aug., 1987	Dispatch of Short-Term Experts	H. SAGAZA T. ITO	WASEDA UNIV. M.O.H.W.
Sept., 1987	Study Tour of three CONAPO Counterparts in Japan	J.J. CANTU G. V. MEDINA L. A. GONZALEZ M.	
Oct., 1987	Start of Input of Socioeconomic Data		
Oct., 1987	Dispatch of Consultation Mission	A. OTOMO M. ATO T. MATSUE K. YASUNO M. OKURA	UTSUNOMIYA UNIV. M.O.H.W. M.O.H.W. M.C.A. JICA
Nov., 1987	Opening of Middle-level Technical Staff Training in Guanajuato		
Jan., 1988	Dispatch of Short-Term Expert on Demography	Y. AIHARA	INSTITUTE OF DEVELOPMENT ECONOMIES
Jan., 1988	Second Survey in Rural Areas		
Feb., 1988	Dispatch of Short-Term Expert on Computer	K. KOIZUMI	M.C.A.
Mar., 1988	Survey on Family and Sex of High School Students		
Mar., 1988	Completion of XTALLY System		
Mar., 1988	Completion of the Second Survey in Rural Area through XTALLY System		
Mar., 1988	Provision of Equipment for 1987 (U.S. \$ 380,789)		
Apr., 1988	Start of Input of Survey Report on High School Students		

A

Apr., 1988	Dispatch of Short-Term Expert on Statistics	N. ARAI	M.O.H.W.
May, 1988	Study Tour of Secretary General of CONAPO in Japan	G. MARTINEZ	
May, 1988	Completion of Survey on High School Students Through XTALLY System		
Jul., 1988	Study Tour of two CONAPO Counterparts in Japan	J. G. SAAVEDRA F. J. GUTIERREZ	
Jul., 1988	Dispatch of Short-Term Expert on Demography	Y. HANADA	M.O.H.W.
Jul., 1988	Dispatch of Evaluation Mission	A. OTOMO M. KUMOMI M. ATO T. ITO S. KAWASAKI M. OKURA	UTSUNOMIYA UNIV. JICA M.O.H.W. M.O.H.W. M.C.A. JICA

ABBREVIATION

JOICFP	<i>The Japanese Organization for International Cooperation in Family Planning</i>
M.O.F.A.	<i>Ministry of Foreign Affairs</i>
M.O.H.W.	<i>Ministry of Health and Welfare</i>
M.C.A.	<i>Management and Coordination Agency</i>
I.C.S.C.	<i>International Cooperation Service Center</i>
A.V.C.C.	<i>Audio Visual Communication Center</i>
INEGI	<i>Instituto Nacional de Estadística, Geografía e Información</i>

